

サレジオ工業高等専門学校
外部評価委員会
評価結果（答申）報告書
（2021年度実施）

2022年3月31日
サレジオ工業高等専門学校

謝辞

この度、高等専門学校機関別認証評価の受審におけた外部評価にご協力くださいました木村 雄二先生（委員長）をはじめ外部評価委員のみなさま、また学内の評価委員のみなさまに心より感謝いたします。また当初のスケジュールから遅れてしまいご迷惑をおかけいたしましたこと、お詫び申し上げます。さらに本校にとって大変有意義な評価結果報告を賜りましたことも重ねてお礼を申し上げます。

本校はPDCAサイクルのC（check）、A（action）の取り組みが不足していることがよくわかりました。ご指摘を参考にして本校は、定期的な審査の有無に関わらず、教育研究に関する諸項目を単年度ごとにモニタリングを行い、こまめな確認を重ねることで、スムーズな情報収集体制と作業体制を構築していきます。その他努力が必要と指摘された事柄においても具体的な施策を行い、組織的に実行することを目指します。今回の外部評価ならびに2023年度の高等専門学校機関別認証評価が本校のさらなる発展につながることを確信しています。今後ともサレジオ高専の教育活動にご理解とご支援をお願いいたします。

2022年3月 校長 小島 知博

目 次

I.はじめに	5
II.外部評価実施要項	7
III.評価結果(答申)報告書[総評編]	11
IV.参考資料	
1) 評価結果(答申)報告書[観点別編]	29
2) 外部評価委員打合せプログラム	136
3) 第1回外部評価委員会プログラム	137
4) 第2回外部評価委員会プログラム	138
5) 外部評価委員名簿	140

はじめに

本委員会は、2021年11月9日に学校長から、サレジオ工業高等専門学校の教育研究活動状況の外部評価について諮問を受けた。

学校長からの諮問に対して本委員会は、独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構が実施する機関別認証評価基準および選択的評価事項に紐づけ、本校の教育研究活動等の総合的な状況について、観点を満たしているかどうかの評価を実施した。

この評価は、8基準を有する「高等専門学校評価基準」の内、別途評価が行われる基準4「財務基盤及び管理運営」を除く7基準と2つの「選択的評価事項」のうち1つの事項からなる「選択的評価事項」に基づく7観点からの評価である。

以下その対応を示す。

観点0:基本方針(ディプロマ・ポリシー)に基づく活動

…[機関別認証評価基準 1]

観点1:ファカルティ・ディベロップメントの方針に基づく活動について

…[機関別認証評価基準 2]

観点2:学生支援の方針に基づく活動について

…[機関別認証評価基準 3]

観点3:教育課程編成・実施の方針に基づく活動について(準学士課程)

…[機関別認証評価基準 5,7]

観点4:入学者受入れの方針に基づく活動について(準学士課程)

…[機関別認証評価基準 6]

観点3+4:教育課程編成・実施の方針に基づく活動について(専攻科課程)

入学者受入れの方針に基づく活動について(専攻科課程)

…[機関別認証評価基準 8]

観点5:研究活動支援の方針に基づく活動について

…[機関別認証評価選択的評価事項 A]

実際の評価に当たっては、本委員会に提出された自己点検評価書をもとに書面評価を実施し、各界・各層から委員会に参画している委員が、広範かつ多面的な視点から教育研究活動状況の評価をおこなった。

この度、委員会として評価結果の成案を得たので、これらを次のとおりに答申として取り纏めた。

サレジオ工業高等専門学校 外部評価実施要項

2021年7月1日
未来戦略総合本部

I. 趣旨・目的

サレジオ工業高等専門学校（以下「本校」という。）の今後の運営ならびに教育研究活動の改善に資するため、学外の有識者による評価を実施することとし、その実施に関し必要事項を定めるものとする。

II. 実施内容

本評価は、本校の教育研究活動のなかで校長が諮問するものについて実施する。本校の教育研究活動は、建学の精神および教育理念に基づき育てる技術者を定め、その達成のために5つの教育研究方針を設けそれぞれの活動を行っており、その活動の評価するための観点は、独立行政法人 大学評価・学位授与機構が実施する機関別認証評価基準および選択的評価事項に紐づけ、本校の教育研究活動等の総合的な状況について、観点を満たしているかどうかを評価する。

観点0：基本方針(ディプロマ・ポリシー、以下「DP」という。)に基づく活動
[機関別認証評価基準1]

観点1：FDの方針に基づく活動について
[機関別認証評価基準2]

観点2：学生支援の方針に基づく活動について
[機関別認証評価基準3]

観点3：教育課程編成・実施の方針に基づく活動について(準学士課程)
[機関別認証評価基準5,7]

観点4：入学者受入れの方針に基づく活動について(準学士課程)
[機関別認証評価基準6]

観点3+4：教育課程編成・実施の方針に基づく活動について(専攻科課程)
入学者受入れの方針に基づく活動について(専攻科課程)
[機関別認証評価基準8]

観点5：研究活動支援の方針に基づく活動について
[機関別認証評価選択的評価事項A]

III. 実施体制

1. 本校

副校長(教学部門担当)(以下「副校長」という。)を責任者とし、未来戦略総合本部が実施にあたり、庶務全般を行う。

機関別認証評価基準を本校の教育の6方針にあてはめた観点をもとに自己点検評価書の作成を行う執筆者責任者は教育の6方針の責任者とする。
観点0 観点1：副校長、観点2：学生主事、観点3（準学士課程）：教務主事
観点4：募集統括長、観点3、4（専攻科）：専攻科長、観点5：専攻科長

2. 外部評価委員会

本評価を実施するため、外部評価委員会（以下「委員会」という。）をおき、次に掲げる委員をもって組織する。委員は本校の校長が委嘱する。

1. 大学、高等専門学校等教育研究機関の教官等および経験者。
2. 産業界の産業動向に精通した者。
3. 卒業生、保護者等高等専門学校に精通した見識を有する者。

外部評価委員会は、自己点検評価書および根拠資料を基に「書面調査の実施」及び「評価結果(答申)報告書」の作成を行う。

IV. 実施時期

2021年10月30日(土)	自己点検評価書 原稿提出
2021年11月10日(水)	審査資料(自己点検評価書、根拠資料等)送付
2021年11月28日(日)	外部評価委員に対する説明会等
2022年2月6日(日)	評価結果(答申)報告書 一次案の提出
2022年2月20日(日)	第1回外部評価委員会
2022年3月13日(日)	評価結果(答申)報告書 最終版の提出
2022年3月18日(金)	総評の提出(委員長)
2022年3月20日(日)	第2回外部評価委員会

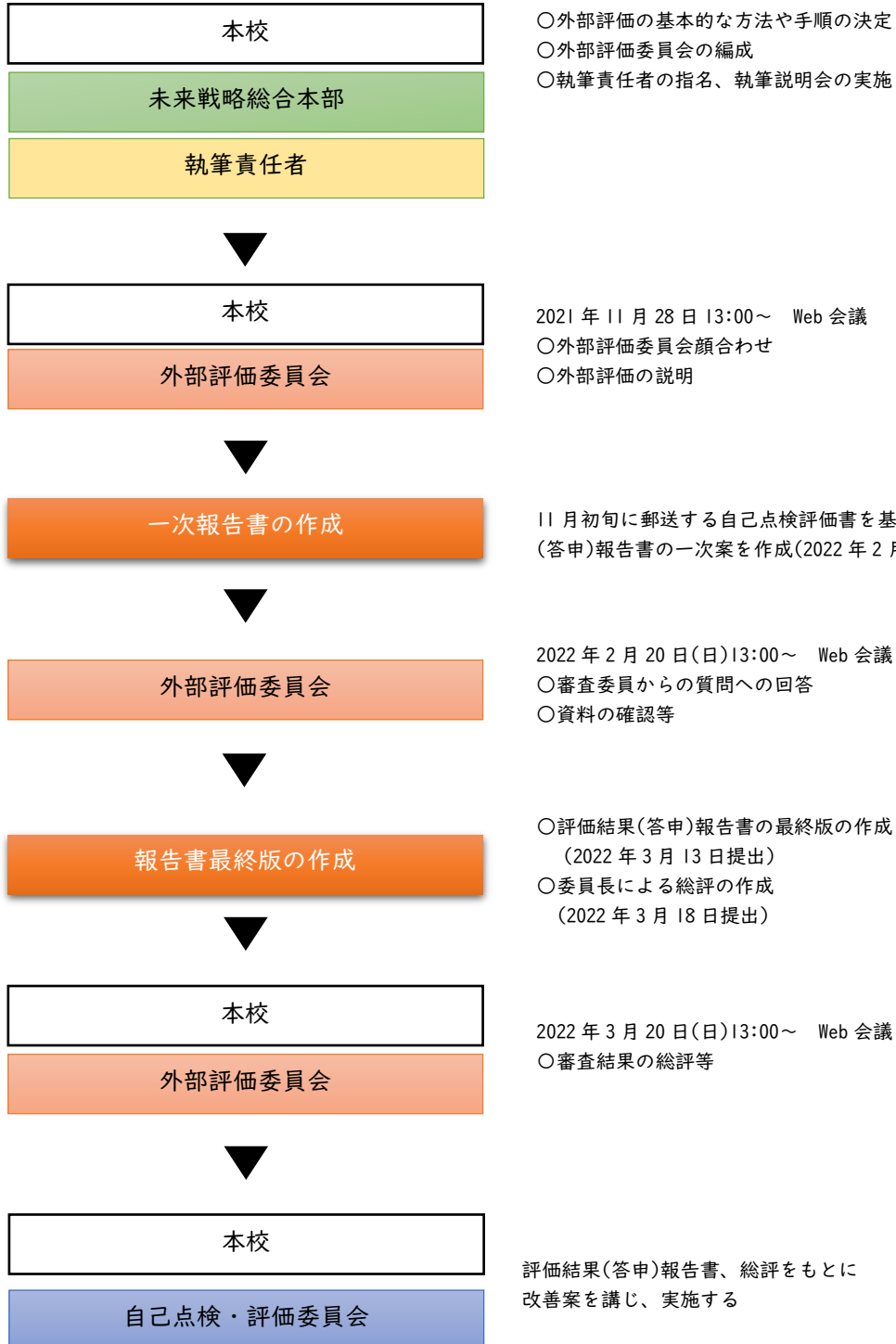
V. 外部評価の結果の公表と情報の取扱い

外部評価委員会で得た情報の扱いは、学生や保護者等の不利益にならないよう十分な配慮を行う。また評価結果(答申)報告書は校長に提出され、校長は個人が特定される情報、その性質上開示に適さないものを除き、これを公表するものとする。

VI. 外部評価に基づく改善

校長は外部評価委員会から提出された外部評価結果(答申)に基づき、改善の方策を講じ実践する。

<評価プロセス>



サレジオ工業高等専門学校
評価結果（答申）報告書
[総評編]

2022年3月15日
外部評価委員会

I. 総評(外部評価委員長)

1. 教育研究活動全体に対する総評

独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構が実施する「高等専門学校機関別認証評価」に準拠した学校評価を実施した。この評価は、8基準を有する「高等専門学校評価基準」の内、別途評価が行われる基準4「財務基盤及び管理運営」を除く7基準と2つの「選択的評価事項」のうち1つの事項からなる「選択的評価事項」に基づく7観点からの評価であり、評価結果の概要は、下記のとおりである。

・基本方針(ディプロマ・ポリシー)に基づく活動

準学士課程、専攻科課程それぞれについて、卒業(修了)の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)、入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)「三つの方針」が学校の目的を踏まえて定められている。

学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されている。

・FDの方針に基づく活動について

教員の教育能力の向上を図る取組が適切に行われており、また、教育活動を展開するために必要な教育支援者等が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われている。

・学生支援の方針に基づく活動について

ICT環境が適切に整備されるとともに、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されている。

教育を実施する上での履修指導、学生の自主的学習の相談・助言等の学習支援体制や学生の生活や経済面並びに就職等に関する指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能している。

・教育課程編成・実施の方針に基づく活動について(準学士課程)

準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、教育課程が体系的に編成されており、その内容が適切である。

準学士課程の教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されている。

今後、各学科は本校の方針に沿った教育計画(P)となっているかを見直し、実施状況(D)の報告と教育効果(C)の検証を必要とする。

・入学者受入れの方針に基づく活動について(準学士課程)

入学者の選抜がアドミッション・ポリシーに沿って適切な方法で実施され、機能している。

・教育課程編成・実施の方針に基づく活動について(専攻科課程)

入学者受入れの方針に基づく活動について(専攻科課程)

専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、教育課程が体系的に編成され、専攻科課程としてふさわしい授業形態、学習指導法等が採用され、適切な研究指導等が行われていること。また、専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)並びに修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に基づき、成績評価・単位認定及び修了認定が適切に行われており、有効なものとなっている。

専攻科課程としての入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)に沿って適切に運用されている。

ディプロマ・ポリシー(DP)については分析確認項目をリスト化した「分析チェックリスト_DP に関する

る項目」を用いて3月の専攻科会議等でチェックする体制を新たに整備しつつあるので、これらの有機的な活用を期待したい。

・研究活動支援の方針に基づく活動について

高等専門学校の研究活動の目的等に照らして、必要な研究体制及び支援体制が整備され、機能しており、研究活動の目的に沿った成果がある程度得られている。

また、各観点に対する総評は、下記のとおりである。

2. 各観点に対する総評

観点0：基本方針(ディプロマ・ポリシー)に基づく活動

[機関別認証評価基準1] 教育の内部質保証システム

教育活動を中心とした学校の総合的な状況について、学校として定期的に学校教育法第109条第1項に規定される自己点検・評価を行い、その結果に基づいて教育の質の改善・向上を図るための教育研究活動の改善を継続的に行う仕組み(内部質保証システム)が整備され、機能させている。

準学士課程、専攻科課程それぞれについて、卒業(修了)の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)、入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)、「三つの方針」が学校の目的を踏まえて定められている。

学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されている。

前回の機関別認証評価における改善事項を受けて、2016年度からディプロマ・ポリシーの見直しに着手し、2020年には「教学の内部質保証について」として取りまとめられた内容に基づいて運用が始まっている。

なお、3つのポリシーについては、学内関係者だけではなくステークホルダーからの意見も聴取してその妥当性を検証する必要があるため、現在実施中の卒業生や企業に対してのアンケート調査の結果のとりまとめ並びにディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーとの対応の整理についても期待したい。

観点1：FDの方針に基づく活動について

[機関別認証評価基準2] 教育組織及び教員・教育支援者等

学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なものであること。また、教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能している。

教育活動を展開するために必要な教員が適切に配置されている。

全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われており、また、教員の採用及び昇格等に当たって、明確な基準や規定が定められ、それに従い適切な運用がなされている。

教員の教育能力の向上を図る取組が適切に行われており、また、教育活動を展開するために必要な教育支援者等が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われている。

FDを実施した結果が、改善に結びついていない点があれば、改善が必要であるため、この実現に向け、自己点検・評価の方針やマニュアルなどに記載するなどの対応を期待したい。

観点 2: 学生支援の方針に基づく活動について

[機関別認証評価基準 3] 学習環境及び学生支援等

学校において編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されている。

I C T環境が適切に整備されるとともに、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されている。

教育を実施する上での履修指導、学生の自主的学習の相談・助言等の学習支援体制や学生の生活や経済面並びに就職等に関する指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能している。

また、学生の課外活動に対する支援体制等が整備され、機能している。

プロジェクト活動推進のための応用技術センターの設置等の支援体制を整備しており、体制における責任の所在を明確にしながら、機能させている。

今回の自己点検・評価では、教育・生活環境だけではなく I C T環境も含めた利用状況や満足度等についてアンケートを実施しているため、このアンケートにより、現在学校が提供している学生支援の状況の的確な把握を期待したい。

観点 3: 教育課程編成・実施の方針に基づく活動について(準学士課程)

[機関別認証評価基準 5, 7] 準学士課程の教育課程・教育方法

準学士課程の学修・教育成果

準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、教育課程が体系的に編成されており、その内容が適切である。

準学士課程の教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されている。

準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)並びに卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に基づき、成績評価・単位認定及び卒業認定が行われており、ある程度有効なものとなっている。

卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に照らして、学習・教育の成果が一定程度認められる。

準学士課程のカリキュラムポリシーに基づき、教育課程が体系的に編成され、その内容等が適切であると思われる。結果として、実施されている教育に多くの特色と長所が確認できる。

演習や実験実習の割合が高く、高専らしい実学教育が実施されている。また、学生が理解しやすいように授業の中で種々の工夫がなされているのがわかる。

各学科においては創造力・実戦力を育む教育について継続して取り組んでいることが確認でき、デザイン学科の学生をはじめとした着実な成果が見られる。したがって、今後、各学科は本校の方針に沿った教育計画(P)となっているかを見直し、実施状況(D)の報告と教育効果(C)の検証を必要とする。

卒業生は必修科目および選択必修科目の単位を取得しているものの、どの程度の水準でディプロマポリシーの能力を身につけているか把握できていないので、学習・教育到達目標に関して卒業生が身につけるべき水準を明らかにする必要がある。

授業科目の単位取得状況だけでなく、卒業生へのインタビューや進学・就職先による卒業生の評価など多様で多面的な評価の視点も欠けている。この点の改善に向けた対応

の考え方具体的施策の策定が必要である。

観点 4: 入学者受入れの方針に基づく活動について(準学士課程)

[機関別認証評価基準 6] 準学士課程の学生受入れ

入学者の選抜がアドミッション・ポリシーに沿って適切な方法で実施され、機能していることが確認できる。

基準に対し各観点の内容を満たしていると判断する。

観点 3+4: 教育課程編成・実施の方針に基づく活動について(専攻科課程)

入学者受入れの方針に基づく活動について(専攻科課程)

[機関別認証評価基準 8] 専攻科課程の教育活動の状況

専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、教育課程が体系的に編成され、専攻科課程としてふさわしい授業形態、学習指導法等が採用され、適切な研究指導等が行われていること。また、専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)並びに修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に基づき、成績評価・単位認定及び修了認定が適切に行われており、有効なものとなっている。

専攻科課程としての入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)に沿って適切に運用されており、適正な数の入学状況である。

修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に照らして、学習・教育・研究の成果が認められる。

すなわち、過去 5 年間の修了生は全員学位取得している。

本年度より開始した修了生と進路先関係者を対象としたアンケート調査結果の専攻科会議で分析等を期待したい。なお、ディプロマ・ポリシー(DP)についても分析確認項目をリスト化した「分析チェックリスト_DP に関する項目」を用いて3月の専攻科会議等でチェックする体制を新たに整備しつつあるので、これらの有機的な活用を期待したい。

観点 5: 研究活動支援の方針に基づく活動について

[機関別認証評価選択的評価事項 A] 研究活動の状況

高等専門学校の研究活動の目的等に照らして、必要な研究体制及び支援体制が整備され、機能しており、研究活動の目的に沿った成果がある程度得られていることは確認できる。

学校が設定した研究活動等の目的に照らして、必要な研究体制・支援体制が整備され機能していると思われる(研究活動の実施体制・支援体制として「研究委員会」が、設備を含む研究体制として「情報館」や各種設備)。研究活動の目的や方針が別途定められていることが望ましい。

研究活動の目的等に沿った成果の評価値について、実施中の「研究活動に関する教員アンケート」結果を用いた目的や目標の達成度分析に期待したい。

II. 観点ごとの評価(各外部評価委員)

観点0：基本方針(ディプロマ・ポリシー)に基づく活動

[機関別認証評価基準Ⅰ] 教育の内部質保証システム

[概評]

教育活動を中心とした学校の総合的な状況について、学校として定期的に学校教育法第109条第1項に規定される自己点検・評価を行い、その結果に基づいて教育の質の改善・向上を図るための教育研究活動の改善を継続的に行う仕組み(内部質保証システム)が整備され、機能させている。

準学士課程、専攻科課程それぞれについて、卒業(修了)の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)、入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)、「三つの方針」が学校の目的を踏まえて定められている。

学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されている。

「サレジオ工業高等専門学校自己点検・評価の方針」を定めている。また自己点検評価委員会を設置し規程を定めている。

内部保障システムが整備され、かつ機能していると思われる。

三ポリシーが、学校の目的を踏まえて適切に定められている。

しかし、エビデンスとなる資料が充分ではないところがあるように思われる。特に、近年の資料の提示が充分でないところがある。今後、定期的にデータや資料を収集・蓄積していくことが望まれる。

前回の機関別認証評価における改善事項を受けて、2016年度からディプロマ・ポリシーの見直しに着手を開始し、2020年には「教学の内部質保証について」として取りまとめられた内容に基づいて運用が始まっている。

[機関別認証評価基準評定]

平均 3.0

点数	評価人数	評 定
4		目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
3	3	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
2		目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
1		目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。

[長所として特記すべき事項]

- 「教学の内部保証について」において、内部保証システムや個々の教学活動の責任者(あるいは責任部署)がわかり易くまとめられている。

[努力課題]

- 3つのポリシーについては、学内関係者だけではなくステークホルダーからの意見も聴取してその妥当性を検証する必要があるため、現在実施中の卒業生や企業に対してのアンケート調査の結果のとりまとめ並びにディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーとの対応の整理についても期待したい。
- 教育研究活動の改善を継続的に行う仕組みがしっかりと作られているが、チェックの結果が改善に

つながっていること（改善の実績）を示すエビデンス資料を蓄積しておくことが必要であると思われる。

- 学校の構成員及び学外関係者の意見の聴取、特に卒業生や企業のアンケートのエビデンス資料が不足していると思われるので、近年の資料を中心に提示してはどうか。会議議事録なども含む。
- 機関別認証評価も近年大きく変化しており、指摘される事項も変わっている。例えば、カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーの整合性に関していえば、両ポリシーの1対1対応関係をより明確にするよう指摘される可能性があると思われる。
また、学習成果をどのように評価するのか（学習成果の評価方法）を、ここで示すことが要求されることがある。
- この観点だけではないのですが、同一資料に複数の資料ナンバーが付けられており、評価委員としてはわかりにくく感じた。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、内部質保証システムの開始が一年遅れて2021年度開始となったことから、今後の継続的な活動が期待される。

[改善勧告]

-

観点Ⅰ：FDの方針に基づく活動について

[機関別認証評価基準 2] 教育組織及び教員・教育支援者等

[概評]

学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なものであること。また、教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能している。

教育活動を展開するために必要な教員が適切に配置されている。

全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われており、また、教員の採用及び昇格等に当たって、明確な基準や規定が定められ、それに従い適切な運用がなされている。

教員の教育能力の向上を図る取組が適切に行われており、また、教育活動を展開するために必要な教育支援者等が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われている。

学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なものであり、また教育活動を展開する上で必要な運営体制、教員が適切に整備・配置され、機能している。

教員の教育研究活動に対して学校による定期的な評価が行われ、教員の採用及び昇格等に当たっても明確な基準や規定が定められ、それに従い適切な運用がなされている。

教員の教育能力の向上を図る取組が適切に行われ、また、教育活動を展開するために必要な教育支援者等が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われている。

[機関別認証評価基準評定]

平均 3.33

点数	評価人数	評 定
4	1	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
3	2	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
2		目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
1		目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。

[長所として特記すべき事項]

- 前回(平成 25 年 3 月 23 日)の評価結果報告書では、専門科目の教員欠員について指摘があったが、令和 2 年 5 月 1 日現在は、設置基準を満たし、教育活動を展開するために必要な体制となっている。

[努力課題]

- FDを実施した結果が、改善に結びついていない点があれば、改善が必要であるので、この実現に向け、自己点検・評価の方針やマニュアルなどに記載するなどの対応を期待したい。
- 非常勤教員の採用基準等を定めていない点は改善が**期待される**。
- FDやSDが定期的実施され、教育改善に結びついている実績を示す資料が欲しいところである。
- 前回の報告で、各種会議における議事録フォーマットがバラバラであり、議事内容の正確性・完全性の保証のため、当該議事録責任者の承認は必要であるとの指摘があった。引き続き対応する必要がある。

[改善勧告]

-

観点 2: 学生支援の方針に基づく活動について

[機関別認証評価基準 3] 学習環境及び学生支援等

[概評]

学校において編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されている。

また、ICT環境が適切に整備されるとともに、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されている。

教育を実施する上での履修指導、学生の自主的学習の相談・助言等の学習支援体制や学生の生活や経済面並びに就職等に関する指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能している。

また、学生の課外活動に対する支援体制等が整備され、機能している。

教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備の他、ICT環境、図書、学術雑誌、視聴覚資料などが整備され、適切に有効に活用されていると思われる。

また、学生のニーズが適切に把握され、相談・助言等を行う体制が整備されていることは確認できる。しかし、利用状況（利用実績数など）や満足度（アンケートなど）などを学校として把握し、改善を行っている資料が不足しており、アピールが少ないと思われる。

設備や体制は整備されており概ね満たしていると考えが、利用状況や満足度の把握、改善を行う体制を整備するなど改善の余地がある。

概ね基準に足して観点を満たしていると感じました。

評価基準にある教育課程に対応して施設・設備の整備は充実していると思います。

後述する項目以外は資料を見る限り、基本的な基準を満たしていると判断しました。

[機関別認証評価基準評定]

平均 3.2

点数	評価人数	評 定
4	1	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
3	4	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
2		目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
1		目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。

[長所として特記すべき事項]

- 緊急対応申し合わせ同意書に基づき、アナフィラキシー症状への対応等も実施している。
プロジェクト活動推進のための応用技術センターの設置等の支援体制を整備しており、体制における責任の所在を明確にしながら、機能させている。
- 学生の生活や経済面に係わる指導・相談・助言等を行う体制がしっかりと整備され、機能していることが確認できる。

[努力課題]

- 整備された教育・生活環境の利用状況や満足度等を学校として把握し改善等を行う体制の整備とその実施に関しては改善すべき点が認められる。

学生や教職員のICT環境の利用状況や満足度等を学校として把握し改善等を行う体制を整備に関しては改善すべき点が認められる。

今回の自己点検・評価では、教育・生活環境だけではなくICT環境も含めた利用状況や満足度等についてアンケートを実施しているので、このアンケートにより、現在学校が提供している学生支援の状況の的確な把握を期待したい。

- 学生支援という点では不足なく行われていると感じていました。しかしながら観点に学生のニーズが適切に把握とありますが、学生の視点としてはニーズを伝える場面があまりないと感じました。
- 安全衛生管理等(3-1-①(8)(9))に関しては、第一回第一回外部評価委員会で回答があった通り今後の危機管理システムの運用の見直し、リスクマネジメントの徹底されることを期待します。
- 利用状況や満足度を把握し、改善等を実施する体制の整備
- 留学生等への支援体制の規定整備
- ・3-2-③ ICT環境のニーズは速いスピードで変わっていくので、広くフィードバックを取り入れる制度を設けて、改善・導入の検討、学校として費用の負担などをすべきではないか
- ・3-2-⑦ 規模が小さいコミュニティなので、随時規則・マニュアルの改善を取り入れる制度があったほうがよいと思いました。(在学中は利用している学生からのフィードバックを採用する制度・機会がなかった。)

[改善勧告]

-

観点3: 教育課程編成・実施の方針に基づく活動について(準学士課程)

[機関別認証評価基準5]準学士課程の教育課程・教育方法

[機関別認証評価基準7]準学士課程の学修・教育成果

[概評]

準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、教育課程が体系的に編成されており、その内容が適切である。

準学士課程の教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されている。

準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)並びに卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に基づき、成績評価・単位認定及び卒業認定が行われており、ある程度有効なものとなっている。

卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に照らして、学習・教育の成果が一定程度認められる。

準学士課程のカリキュラムポリシーに基づき、教育課程が体系的に編成され、その内容や水準等が適切であると思われる。結果として、実施されている教育に多くの特色と長所が確認できる。

しかし、一部の資料が不足、あるいは補足説明が必要な点がある。

就職率及び進学率から判断して、学習・教育の成果が認められる。

就職率・進学率は十分に高く、就職先は当校が育成する技術者像に相応しい業種が多くなっている

授業科目や授業形態、指導方法は整備・工夫されており、成績評価・単位/卒業認定も適切に行われていることから各観点概ね満たしていると考えますが、卒業生・進路先の意見聴取からの成果といった一部不十分な観点がある。

卒業生等への意見聴取について、改善の取り組みが確認できることから、ほぼ達成していると判断する。今後も継続していくための体制整備・改善は必要と考える。

方針等はシラバスなどを通じて学生のへの周知はきちんと行っていたと感じています。

が全体的に学生の認知状況などを学校側が把握しようとしてい

る感覚もなかったのが観点としてあるならば対策が必要なのではないのでしょうか。

資料を見る限り、基本的な基準を満たしていると判断しました。

[機関別認証評価基準評定]

平均 2.83

点数	評価人数	評 定
4		目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
3	5	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
2	1	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
1		目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。

[長所として特記すべき事項]

- インターンシップ、外国語の他、多数の選択科目を開講し教育していることは大いに評価される。

- 演習や実験実習の割合が高く、高専らしい実学教育が実施されている。また、学生が理解しやすいように授業の中で種々の工夫がなされているのがわかる。
- 創造力や実践力を育む特色ある教育が、全ての学科で実施されている。
- 最近の就職率・就職先及び進学率から判断して、学習・教育の成果が十分に認められる。
- ・5-1-② インターンシップの単位認定とサポート体制を設ける制度はよいと思います。
- 授業編成や工夫（少人数編成）などに授業を受けた身として効果はあったと思います。
また学生が気になる評価部分はシラバスにて自己採点などで学生側からも確認ができるような体制であったのがよいと思います

[努力課題]

- 各学科においては創造力・実戦力を育む教育について継続して取り組んでいることが確認でき、デザイン学科の学生をはじめとした着実な成果が見られる。したがって、今後、各学科は本校の方針に沿った教育計画（P）となっているかを見直し、実施状況（D）の報告と教育効果（C）の検証を必要とする。
- 学習・教育到達目標や2016年度入学・2020年度卒業の教育課程のねらいにもとづいて、ディプロマポリシーやカリキュラムポリシーが設定されていることを、ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーの一対一の対応を整理し、カリキュラムポリシーをどのような科目群で実践しているかを見える化（科目関連図等）することを目指して、教育課程が計画された経緯やディプロマポリシー設定時の経緯について現存する資料を精査し、既存の科目関連図の確認・改訂を早急に行うことを期待したい。
- シラバスの活用状況については十分に把握されていないので、現在実施しているシラバスの活用状況についての学生・教員へのアンケート調査の整理によりその早急な把握に基づき改善が行われることを期待したい。
- 学力に関して総合的・多面的に丁寧な評価を実施しておらず、また資質・能力についての把握・評価については現在の課題であるので、総合的・多面的な丁寧な評価のために実施中の学生・卒業生や就職先へのアンケート調査結果の早急な整理と、次年度の機関別認証評価の点検書への掲載を目指した調査結果に対する評価・分析作業の進捗に期待したい。
- 成績評価方法について、履修者に公開している試験成績等のデータに基づいて自らの評価を算出できるよう心がけているが、成績評価基準については明記されていないものが多く今後の課題である。
- 学力以外の資質・能力の把握・評価は、成績評価基準（水準）の設定に依存しており、短期間での実施は困難さを伴うので、2020年度以降の入学生向けの教育課程に対して卒業生や進路先へのアンケート調査結果の分析も議論のための一資料として用い、2023年度までに卒業生が身に着けるべき学力・資質・能力等の水準を明確にするとしているので、この実現を期待したい。
- 卒業認定基準の周知に対する学生の認知状況を学校としては把握していない点の改善が求められるが、これについても、学生へのアンケート調査の整理により活用状況の早急な把握に期待したい。
- 就職や進学といった卒業後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育の成果が十分に認められるものの、卒業時の学生・卒業生・就職先からのアンケート結果などの資料が不足していると思われる。
- アンケート結果などの収集・評価が求められる。
- シラバスの活用状況の把握、改善の体制整備
- 前回(平成25年3月23日)の評価結果報告書にもあるように、学生への学習達成度アンケートや就職・進学先への満足度アンケートなど、定性的な測定を継続的に実施する必要があるのではないかと。

[改善勧告]

- ディプロマポリシーと各学科の学習・教育到達目標との対応や教育課程の見直しにともなう教育プログラムの更新が不十分であるとともに、その際の議論（議事録）や決定事項をまとめた文書を紛失しており、本校での改組や担当者の変更にともなう文書管理等を改善する必要がある。さらに、卒業生は必修科目および選択必修科目の単位を取得しているものの、どの程度の水準でディプロマポリシーの能力を身につけているか把握できていないので、学習・教育到達目標に関して卒業生が身につけるべき水準を明らかにする必要がある。
- 組織の在り方や文書管理に関する事項については、早急に委員会等の役割と権限を見直し、その中で事務局と文書管理についてさらに明確にする必要性を感じるが、当面各委員会等での会議資料・議事録の保管を徹底することを期待したい。
- 授業科目の単位取得状況だけでなく、卒業生へのインタビューや進学・就職先による卒業生の評価など多様で多面的な評価の視点も欠けている。この点の改善に向けた対応の考え方具体的施策の策定が必要である。
- 教育課程表からでは、教育目標と授業科目の対応は確認できるが、カリキュラムポリシーで定められた内容と各授業科目が対応付けられていることを確認できないので、資料を基に補足説明が必要であると思われる 5-1-①
- 学生・卒業生・進路先からの意見聴取による教育成果の把握・評価体制の整備 7-1-②

観点4：入学者受入れの方針に基づく活動について(準学士課程)

[機関別認証評価基準6] 準学士課程の学生受入れ

[概評]

入学者の選抜が、入学者の受入れに関する方針（アドミSSION・ポリシー）に沿って適切な方法で実施されていることは理解できるが、実入学者数が、入学定員と比較して適正な数となっているかについては、在籍者数を示す明確な資料を確認したい。

その後、これらが機能しているか否かの判断をしたい。

入学者の選抜がアドミSSION・ポリシーに沿って適切な方法で実施され、機能していることが確認できる。

基準に対し各観点の内容を満たしていると判断する。

資料を見る限り、基本的な基準を満たしていると判断しました。

とくに問題もなく観点を満たしていると思います。

2020年度において、50名超クラスが3クラスであることから、関連する教室の改修工事の実施について、組織的に対応している。

[機関別認証評価基準評定]

平均 3.5

点数	評価人数	評 定
4	3	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
3	3	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
2		目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
1		目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。

[長所として特記すべき事項]

-

[努力課題]

- 定員を大幅に超過した状況の改善の取組として、AO入試の内申基準の加点の取扱いを3点から2点へ変更した。AO入試の出願基準の微調整（模擬試験結果、内申基準の加点 2017年度入試～）について議事録で確認したとあるが、明文化されていなかったため、この明文化を期待したい。

[改善勧告]

-

観点 3+4: 教育課程編成・実施の方針に基づく活動について(専攻科課程)

入学者受入れの方針に基づく活動について(専攻科課程)

[機関別認証評価基準 8] 専攻科課程の教育活動の状況

[概評]

専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、教育課程が体系的に編成され、専攻科課程としてふさわしい授業形態、学習指導法等が採用され、適切な研究指導等が行われていること。また、専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)並びに修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に基づき、成績評価・単位認定及び修了認定が適切に行われており、有効なものとなっている。

専攻科課程としての入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)に沿って適切に運用されており、適正な数の入学状況である。

修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に照らして、学習・教育・研究の成果が認められる。すなわち、過去5年間の修了生は全員学位取得している。

当校の専攻科は、JABEE 認定プログラムの認定を受けていること、また大学改革支援・学位授与機構から特例適用専攻科として認定されており教育・研究がCPに基づき適切に行われていることが確認されている。ただし、修了時の学生・修了生・就職先からのアンケート結果などの資料が充分ではなく、確認が難しい項目があるように思われる。

また、最近の修了生の就職率および学位取得率は100%となっており、学習・教育・研究の成果が認められる。

各基準に対し、すべての観点を概ね満たしていると判断するが、修了生や進路先からの意見聴取による成果の把握・評価など一部観点到改善の余地がある。

[機関別認証評価基準評定]

平均 2.66

点数	評価人数	評 定
4		目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
3	2	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
2	1	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
1		目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。

[長所として特記すべき事項]

- 達成度チェックシートを用いた学生の自己点検とそれをもとに行っている指導教員とのディスカッションは学生が目標とする技術者像へ近づくための方法として有用であると考えられる。
- 達成度チェックシートによる学生の自己評価と、それを用いた指導教員との面談を実施している点。

[努力課題]

- カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、適切な授業形態が採用されているかについては新たに「授業形態と履修状況」を用いて開講科目の実施形態(講義、演習、実験実習)の状況を把握・分析し、

「分析チェックリスト_CPに関する項目」を用いてCPに沿って授業科目が適切に配置されて、評価が適切に実施されているかなどを確認・分析している。これらの作業は本年度より専攻科会議で実施しており、そこでは分析・確認し、講義、演習、実験、実習等のバランスは適切であると判断し、また、個々のシラバスについてもCPに従って適切に作成されていることを確認している。なお、CPの一つ「基礎力、人間性及び国際性に関する科目が必修科目の中心となっている」について、本年度より、「人間性」に関する科目「伝統文化特論」と「技術史」が必修科目となっていない件については、これらと「単位互換科目」を新たに「分野別要件を有する選択必修科目(⑤群)」(2科目以上を履修することが要件)とすることによって、学生のニーズに合わせた科目設計ができるようになってきているとしている。ただ、「分野別要件を有する選択必修科目(⑤群)」の中身の関する資料が明示されていないので、確認できない。

- 1単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45時間である授業科目を配置している場合、授業時間以外の学修についての評価がシラバス記載どおりに行われていることを学校として把握しているかならびに学生の認知状況を学校として把握しているかについての現状は下記のとおりである。
- 学修単位科目については、現在、「自学学習時間」のみをシラバスに明記し、自学学習時間に行く課題の内容や同課題の評価方法に関する説明については各担当者に任せている状況であるので、自学学習の内容と評価方法をシラバスに次年度より明記するように要請を出し対応することを、「専攻科会議議事録_2月」で確認した。また、同項目に対する学生の認知状況については次年度の授業アンケート(シラバスに関する項目)を用いる予定であるとの説明がなされたので、この早急なとりまとめを期待したい。
- 学生の認知状況については次年度の授業アンケート(シラバスに関する項目)を用いる予定であるので、その成果を期待したい。
- 修了時の学生・修了生・就職先からのアンケート結果などの資料が充分ではなく、データの収集・保存が望まれる。
- 修了生・進路先からの意見聴取による教育成果の把握・評価体制の整備

[改善勧告]

- 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、修了生(修了直後でない者)に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を行っていないので今後の検討課題である。
- また、学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、進路先関係者等に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を十分には行われていないので今後の課題である。
- したがって、評価結果から学習・教育・研究の成果が十分に認められとは言えない。
- 本年度より開始した修了生と進路先関係者を対象としたアンケート調査結果の専攻科会議で分析等を期待したい。なお、ディプロマ・ポリシー(DP)についても分析確認項目をリスト化した「分析チェックリスト_DPに関する項目」を用いて3月の専攻科会議等でチェックする体制を新たに整備しつつあるので、これらの有機的な活用を期待したい。

観点5：研究活動支援の方針に基づく活動

[機関別認証評価選択的評価事項 A] 研究活動の状況

[概評]

高等専門学校の研究活動の目的等に照らして、必要な研究体制及び支援体制が整備され、機能しており、研究活動の目的に沿った成果がある程度得られていることは確認できる。

学校が設定した研究活動等の目的に照らして、必要な研究体制・支援体制が整備され機能していると思われる（研究活動の実施体制・支援体制として「研究委員会」が、設備を含む研究体制として「情報館」や各種設備）。研究活動の目的や方針が別途定められていることが望ましい。

資料を見る限り、基本的な基準を満たしていると判断しました。

[機関別認証評価基準評定]

平均 3.33

点数	評価人数	評 定
4	1	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
3	2	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
2		目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
1		目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。

[長所として特記すべき事項]

-

[努力課題]

- ポータルサイトに示すように研究力の向上や教育の質の向上、学生の研究活動、表彰等が得られているが、その評価値などは現時点で出してはいない。これは今後の課題になると考える。
- また、研究力向上などに関する評価値などは設けておらず、これについても改善が必要であると考ええる。
- 研究活動の目的等に沿った成果の評価値について、実施中の「研究活動に関する教員アンケート」結果を用いた目的や目標の達成度分析に期待したい。
- 研究活動の支援は十分であるとは言えない。研究日（裁量日）を設けてはいるが、十分な研究時間を確保できているとは言えず、担当授業数の調整など課題は多い。
- 同項目について、まずは現状把握が必要であると考え、上述した「研究活動に関する教員アンケート」に加えて、「研究支援に関する教員アンケート」を実施し、研究環境の改善点の見える化を行っているとのことであるので、その成果を期待したい。

[改善勧告]

-

サレジオ工業高等専門学校

評価結果(答申)報告書

[観点別編]

観点0：基本方針(ディプロマ・ポリシー)に基づく活動

[機関別認証評価基準1] 教育の内部質保証システム

<p>1-1 教育活動を中心とした学校の総合的な状況について、学校として定期的に学校教育法第109条第1項に規定される自己点検・評価を行い、その結果に基づいて教育の質の改善・向上を図るための教育研究活動の改善を継続的に行う仕組み（以下「内部質保証システム」という。）が整備され、機能していること。</p>
<p>1-2 準学士課程、専攻科課程それぞれについて、卒業（修了）の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）（以下「三つの方針」という。）が学校の目的を踏まえて定められていること。</p>
<p>1-3 学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されていること。</p>

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
<p>1-1-① 教育活動を中心とした学校の活動の総合的な状況について、学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針、体制等が整備され、点検・評価の基準・項目等が設定されているか。</p>	<p>観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： 学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針を定められ、自己点検・評価の実施体制（委員会等）が整備され、同方針に基づいて、自己点検・評価の基準・項目等が設定されている。 外部評価については、原則、機関別認証評価の中間年に1度実施するとしている。</p>
<p>1-1-② 内部質保証システムに基づき、根拠となるデータや資料に基づいて自己点検・評価が定期的に行われ、その結果が公表されているか。</p>	<p>観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： 根拠となるデータや資料等を定期的に収集・蓄積し、自己点検・評価を定期的の実施しており、その結果が公表されている。</p>
<p>1-1-③ 学校の構成員及び学外関係者の意見の聴取が行われており、それらの結果が自己点検・評価に反映されているか。</p>	<p>観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： 自己点検・評価の実施に際して、教員、職員、在学生、卒業（修了）時の学生、卒業（修了）から一定年数後の卒業（修了）生、保護者、就職・進学先関係者等の意見（平成21年度のデータのみ確認できる）を反映するようになっている。 自己点検・評価の実施において、</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
		<p>卒業（修了）後の就職・進学先等による学生の学習成果の効果に関する評価、外部有識者の検証、教育活動に関する第三者評価（機関別認証評価、JABEE 等。）等で聴取された意見の評価結果及び他の様々な評価の結果等を踏まえて自己点検・評価を行っている。</p> <p>したがって、それらの結果が自己点検・評価に反映されている。</p> <p>また、学生からの授業改善要望に対して、実態調査報告書、改善計画書、改善実施報告書を順次作成しながら丁寧に対応していることは評価される。</p>
<p>1-1-④</p> <p>自己点検・評価や第三者評価等の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるような組織としての体制が整備され、機能しているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>自己点検・評価や第三者評価等の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるような組織としての体制が整備されていることが確認でき、前回の機関別認証評価における評価結果について、「改善を要する点」として指摘された事項への対応を行っている。</p> <p>また、実際に、自己点検・評価や第三者評価等の結果に基づいて改善に向けた取組を行っている。</p>
<p>1-2-①</p> <p>準学士課程の卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>準学士課程の卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）が学校の目的、身に付けてほしい能力の要素（① 知識・理解、② 思考・判断、③ 興味・関心、④ 態度、⑤ 技能・表現）を踏まえて明確に定められている。</p> <p>ディプロマ・ポリシーは、「何ができるようになるか」に力点を置いたものであり、かつ準学士課程全体、各学科の目的と整合性を有している。</p> <p>すなわち、ディプロマ・ポリシーに述べられている身につける能力は、さらに各学科の学習・教育目標へとブレイクダウンされ、各学科の目的に沿った具体的な内容となって</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
		<p>いる。</p> <p>ディプロマ・ポリシーの中で、学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力、並びに、養成しようとする人材像等の内容を明確に示している</p>
<p>1-2-②</p> <p>準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性を持ち、学校の目的を踏まえて明確に定められているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/>満たしている <input type="checkbox"/>どちらともいえない <input type="checkbox"/>満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>ガイドライン等を踏まえ、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を定めている。</p> <p>カリキュラム・ポリシーは、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）との整合性を有している。</p> <p>また、どのような教育課程を編成するか、どのような教育内容・方法を実施するかならびに学習成果をどのように評価するかを示している。</p>
<p>1-2-③</p> <p>準学士課程の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/>満たしている <input type="checkbox"/>どちらともいえない <input type="checkbox"/>満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>ガイドライン等を踏まえ、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）を定めている。</p> <p>アドミッション・ポリシーは、学校の目的や学科の目的、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえて策定している。</p> <p>アドミッション・ポリシーには、「入学者選抜の基本方針」を明示している。</p> <p>アドミッション・ポリシーには、「求める学生像（受け入れる学生に求める学習成果を含む。）」を明示されている。</p> <p>受け入れる学生に求める学習成果には「学力の3要素（1知識・技能、2思考力・判断力・表現力等の能力、3主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）」に係る内容が含まれている。</p>
<p>1-2-④</p> <p>専攻科課程の修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/>満たしている <input type="checkbox"/>どちらともいえない <input type="checkbox"/>満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>ガイドライン等を踏まえ、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を専攻科課程全体として定めている。</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
		<p>ディプロマ・ポリシーが、「何ができるようになるか」に力点を置き、専攻科課程全体、各専攻の目的と整合性を有している。</p> <p>ディプロマ・ポリシーの中で、学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力、並びに、養成しようとする人材像等の内容を明確に示している。</p>
<p>1-2-⑤</p> <p>専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）が、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性を持ち、学校の目的を踏まえて明確に定められているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/>満たしている <input type="checkbox"/>どちらともいえない <input type="checkbox"/>満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>ガイドライン等を踏まえ、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を専攻科課程全体として定めている。</p> <p>カリキュラム・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーとの整合性を有している。</p> <p>カリキュラム・ポリシーは、下記の内容を含んでいる。</p> <p>すなわち、どのような教育課程を編成するか、どのような教育内容・方法を実施するか、ならびに学習成果をどのように評価するかを示している。</p>
<p>1-2-⑥</p> <p>専攻科課程の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/>満たしている <input type="checkbox"/>どちらともいえない <input type="checkbox"/>満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>ガイドライン等を踏まえ、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）を専攻科課程全体として定めている。</p> <p>アドミッション・ポリシーは、学校の目的や専攻科課程の目的、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえて策定されている。</p> <p>アドミッション・ポリシーには、「入学者選抜の基本方針」を明示している。</p> <p>アドミッション・ポリシーには、「求める学生像（受け入れる学生に求める学習成果を含む。）」を明示している。</p> <p>受け入れる学生に求める学習成果には「学力の3要素」に係る内容が含まれている。</p>
<p>1-3-①</p>	<p>観点を</p>	<p>コメント：</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	学校の目的及び三つの方針について、社会の状況等を把握し、適宜点検する体制となっており、適宜点検しており、点検した上で、改定を要しないと判断している。 すなわち、現在のところ改変が必要であるとの意見は出ていない。

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

教育活動を中心とした学校の総合的な状況について、学校として定期的に学校教育法第109条第1項に規定される自己点検・評価を行い、その結果に基づいて教育の質の改善・向上を図るための教育研究活動の改善を継続的に行う仕組み（内部質保証システム）が整備され、機能させている。

準学士課程、専攻科課程それぞれについて、卒業（修了）の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）（「三つの方針」）が学校の目的を踏まえて定められている。

学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されている。

[長所として特記すべき事項]

[努力課題]

3つのポリシーについては、学内関係者だけではなくステークホルダーからの意見も聴取してその妥当性を検証する必要があるため、現在実施中の卒業生や企業に対してのアンケート調査の結果のとりまとめ並びにディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーとの対応の整理についても期待したい。

[改善勧告]

該当する観点	
--------	--

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

観点 1：FDの方針に基づく活動

[機関別認証評価基準 2] 教育組織及び教員・教育支援者等

2-1	学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なものであること。 また、教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能していること。
2-2	教育活動を展開するために必要な教員が適切に配置されていること。
2-3	全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われていること。また、教員の採用及び昇格等に当たって、明確な基準や規定が定められ、それに従い適切な運用がなされていること。
2-4	教員の教育能力の向上を図る取組が適切に行われていること。また、教育活動を展開するために必要な教育支援者等が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
2-1-① 学科の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。	観點を ☑満たしている ☐どちらともいえない ☐満たしていない	コメント： 学科の構成が学校の目的及び卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性がとれている。 本校は学則第1条に示された目的に基づいて準学士課程の卒業の認定に関する方針を定めている。また、「社会の有為な形成者」に関して、その時代の要請に応じて学科を改編しており、現在のデザイン学科・電気工学科・機械電子工学科・情報工学科の学科構成は、学校の目的および卒業の認定に関する方針と整合性がとれた構成となっている。
2-1-② 専攻の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。	観點を ☑満たしている ☐どちらともいえない ☐満たしていない	コメント： 専攻の構成が学校の目的及び修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性がとれている。 本校の専攻科は、準学士課程の3学科（電気工学科・機械電子工学科・情報工学科）を統合した生産システム工学専攻の1専攻で構成され

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
		ている。準学士課程で学修した工学分野に加え、他の工学分野を学修できるようになっており、専攻科の目的および修了の認定に関する方針と整合性がとれた構成となっている。
<p>2-1-③ 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制が整備され、教育活動等に係る重要事項を審議するなどの必要な活動が行われているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制を整備し、必要な活動を行っている。</p>
<p>2-2-① 学校の目的を達成するために、準学士課程に必要な一般科目担当教員及び各学科の専門科目担当教員が適切に配置されているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： 一般科目担当及び専門科目担当の専任教員（教授及び准教授）の数を法令に従い確保し、適切に配置している。 また、適切な専門分野の教員が授業科目を担当している。 適切な教員配置について専門分野以外に博士の学位、ネイティブスピーカーか否か、技術資格、実務経験の有無等について配慮している。</p>
<p>2-2-② 学校の目的を達成するために、専攻科課程に必要な各分野の教育研究能力を有する専攻科担当教員が適切に配置されているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： 専攻科の授業科目担当教員を適切に確保し、適切な専門分野の教員が授業科目を担当している。 また、適切な研究実績・研究能力を有する教員が研究指導を担当している。</p>
<p>2-2-③ 学校の目的に応じた教育研究活動の活性化を図るため、教員の年齢構成等への配慮等適切な措置が講じられているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： 教員の配置について、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に著しく偏ることのないよう配慮している。 これ以外に配慮している措置として、教育経歴、実務経験などが挙げられる。 在職する教員に対して教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るために行っている措置として、学位取得に関する支援、公募制の導入、教員表彰制度の導入、校長裁量経費等の予算配分、ゆとりの時間確保策の導入などを実施している。</p>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
<p>2-3-①</p> <p>全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われており、その結果が活用されているか。</p>	<p>観點を</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしている</p> <p><input type="checkbox"/> どちらともいえない</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>全教員（非常勤教員を除く。）に対して校長又はその委任を受けた者による教育上の能力や活動実績に関する評価を定期的に行い、その結果を基に給与・研究費配分への反映や教員組織の見直し等の適切な取組を行う体制を整備し、教員評価を実施している。</p> <p>なお、非常勤講師に対しては授業アンケートを実施している。</p>
<p>2-3-②</p> <p>教員の採用や昇格等に関する基準や規定が明確に定められ、適切に運用されているか。</p>	<p>観點を</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしている</p> <p><input type="checkbox"/> どちらともいえない</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>教員（非常勤教員を除く。）の採用・昇格等に関する基準を法令に従い定め、これに基づき実際の採用・昇格等を行っている。</p> <p>同基準等では、模擬授業の実施、教育歴の確認、実務経験の確認などにより教育上の能力等を確認する仕組みとなっている。</p> <p>なお、非常勤教員の採用基準等を定めていない点は改善が期待される。</p>
<p>2-4-①</p> <p>授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究（ファカルティ・ディベロップメント）が、適切な方法で実施され、組織として教育の質の向上や授業の改善が図られているか。</p>	<p>観點を</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしている</p> <p><input type="checkbox"/> どちらともいえない</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>授業の内容及び方法の改善を図るためにファカルティ・ディベロップメント（FD）を実施する体制を整備し、FDを実施している。</p> <p>FDを実施した結果が、改善に結びついていない点があれば、改善が必要である。</p>
<p>2-4-②</p> <p>学校における教育活動を展開するために必要な事務職員、技術職員等の教育支援者等が適切に配置されているか。</p>	<p>観點を</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしている</p> <p><input type="checkbox"/> どちらともいえない</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>教育支援者等（事務職員、技術職員、図書館職員、助手等。）を法令に従い適切に配置している。</p> <p>また、図書館に司書等の専門的職員を法令に従い適切に配置している。</p>
<p>2-4-③</p> <p>教育支援者等に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組が適切に行われているか。</p>	<p>観點を</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしている</p> <p><input type="checkbox"/> どちらともいえない</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>教育支援者等（事務職員、技術職員、図書館職員、助手等。）に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組を適切に行っている。</p>

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なものであること。また、教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能している。

教育活動を展開するために必要な教員が適切に配置されている。

全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われており、また、教員の採用及び昇格等に当たって、明確な基準や規定が定められ、それに従い適切な運用がなされている。

教員の教育能力の向上を図る取組が適切に行われており、また、教育活動を展開するために必要な教育支援者等が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われている。

[長所として特記すべき事項]

--

[努力課題]

FDを実施した結果が、改善に結びついていない点があれば、改善が必要であるので、この実現に向け、自己点検・評価の方針やマニュアルなどに記載するなどの対応を期待したい。

非常勤教員の採用基準等を定めていない点は改善が**期待される**。

[改善勧告]

該当する観点	

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

観点 2: 学生支援の方針に基づく活動

[機関別認証評価基準 3] 学習環境及び学生支援等

<p>3-1 学校において編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されていること。また、ICT環境が適切に整備されるとともに、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されていること。</p>
<p>3-2 教育を実施する上での履修指導、学生の自主的学習の相談・助言等の学習支援体制や学生の生活や経済面並びに就職等に関する指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能していること。また、学生の課外活動に対する支援体制等が整備され、機能していること。</p>

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
<p>3-1-① 学校において編成された教育研究組織の運営及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されているか。</p>	<p>観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： 校地・校舎面積を法令に従い適切に確保している。運動場を校舎と同一の敷地内又はその隣接地に設けている。 校舎に専用の施設を法令に従い適切に備えている。 学科の種類に応じ、実験・実習工場等の附属施設を法令に従い適切に整備している。 また、自主的学習スペースを設けている。 そして、教育研究環境の充実を図るため、電波暗室、無響音室を設けている。 さらに、施設・設備の安全衛生管理体制を整備し、有効に機能させている。 加えて、施設・設備のバリアフリー化への配慮を行っている。 しかしながら、整備された教育・生活環境の利用状況や満足度等を学校として把握し改善等を行う体制の整備とその実施に関しては改善すべき点が認められる。</p>
<p>3-1-② 教育内容、方法や学生のニーズに対応した</p>	<p>観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている</p>	<p>コメント： 教育内容、方法や学生のニーズに</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
ICT環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。	<input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	<p>対応したICT環境を適切に整備し、そのセキュリティ管理体制も適切に整備している。</p> <p>そして、ICT環境は有効に活用されている。</p> <p>なお、学生や教職員のICT環境の利用状況や満足度等を学校として把握し改善等を行う体制を整備に関しては改善すべき点が認められる。</p>
3-1-③ 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	<p>コメント：</p> <p>図書館の設備を法令に従い備え、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料を系統的に収集、整理しており、これら資料は、教職員や学生に有効に活用されている。</p> <p>また、同資料が有効に活用されるための取組を行っている。</p>
3-2-① 履修等に関するガイダンスを実施しているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	<p>コメント：</p> <p>教育を実施する上でのガイダンスを学科生・専攻科生に対して実施している。</p>
3-2-② 学習支援に関する学生のニーズが適切に把握され、学生の自主的学習を進める上での相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	<p>コメント：</p> <p>学生の自主的学習を進める上で、担任制・指導教員制の整備、オフィスアワーの整備、電子メールによる相談受付体制の整備、ICTを活用した成績確認や学習相談等に関するシステムの整備、資格試験・検定試験等の支援体制の整備などの相談・助言体制を整備し、学生に利用されている。</p> <p>また、修学支援相談リーフレットにより支援体制の存在、支援相談のながれを周知し、システムを有効に機能させている。</p>
3-2-③ 特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等を適切に行うことができる体制が整備されており、必要に応じて支援が行われているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	<p>コメント：</p> <p>障害のある学生の学習及び生活に対する支援体制を整備し、必要に応じて支援を行っている。</p> <p>障害者差別解消法第5条及び第7条又は第8条（第9条、第10条、第11条の関係条項も含む。）に対応している。</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
		<p>なお、留学生、編入学生、社会人学生の学習及び生活に対する支援体制を整備していない。</p> <p>緊急対応申し合わせ同意書に基づき、アナフィラキシー症状への対応等も実施している。</p>
<p>3-2-④ 学生の生活や経済面に係わる指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/>満たしている <input type="checkbox"/>どちらともいえない <input type="checkbox"/>満たしていない</p>	<p>コメント： 学生の生活や経済面における指導・相談・助言等の体制に関し、学生相談室、保健センター、相談員やカウンセラーの配置、ハラスメント等の相談体制、学生に対する相談の案内、奨学金、授業料減免、特待生、緊急時の貸与等の制度、いじめの防止・早期発見・対処等の体制などを整備し、対応している。</p> <p>これらの体制に基づいた学生の生活や経済面における指導・相談・助言等の活動が実際に学生に利用されている。</p> <p>また、健康診断及び健康相談・保健指導を定期的実施している。</p>
<p>3-2-⑤ 就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制が整備され、機能しているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/>満たしている <input type="checkbox"/>どちらともいえない <input type="checkbox"/>満たしていない</p>	<p>コメント： 就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制を整備している。</p> <p>これらの体制の下、就職や進学等の進路指導を含めたキャリア教育に関して、キャリア教育に関する研修会・講演会の実施、進路指導ガイダンスの実施、進学・就職に関する説明会、資格試験や検定試験のための補習授業や学習相談などの取組を行っており、これらの取組が機能している。</p>
<p>3-2-⑥ 学生の部活動、サークル活動、自治会活動等の課外活動に対する支援体制が整備され、適切な責任体制の下に機能しているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/>満たしている <input type="checkbox"/>どちらともいえない <input type="checkbox"/>満たしていない</p>	<p>コメント： 学生の課外活動に対する部顧問の配置、プロジェクト活動推進のための応用技術センターの設置等の支援体制を整備しており、体制における責任の所在を明確にしながら、機能させている。</p>
<p>3-2-⑦ 学生寮が整備されている場合には、学生の生活及び勉学の場として有効に機能している</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/>満たしている <input type="checkbox"/>どちらともいえない</p>	<p>コメント： 学生寮を生活及び勉学の場として整備し、管理・運営体制も構築しな</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
か。	ない <input type="checkbox"/> 満たしていない	がら有効に機能させている。

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

学校において編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されている。

また、ICT環境が適切に整備されるとともに、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されている。

教育を実施する上での履修指導、学生の自主的学習の相談・助言等の学習支援体制や学生の生活や経済面並びに就職等に関する指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能している。

また、学生の課外活動に対する支援体制等が整備され、機能している。

[長所として特記すべき事項]

緊急対応申し合わせ同意書に基づき、アナフィラキシー症状への対応等も実施している。

プロジェクト活動推進のための応用技術センターの設置等の支援体制を整備しており、体制における責任の所在を明確にしながら、機能させている。

[努力課題]

整備された教育・生活環境の利用状況や満足度等を学校として把握し改善等を行う体制の整備とその実施に関しては改善すべき点が認められる。

学生や教職員のICT環境の利用状況や満足度等を学校として把握し改善等を行う体制を整備に関しては改善すべき点が認められる。

今回の自己点検・評価では、教育・生活環境だけではなくICT環境も含めた利用状況や満足度等についてアンケートを実施しているので、このアンケートにより、現在学校が提供している学生支援の状況の的確な把握を期待したい。

[改善勧告]

該当する観点

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

観点 3: 教育課程編成・実施の方針に基づく活動について(準学士課程)

[機関別認証評価基準 5] 準学士課程の教育課程・教育方法

[機関別認証評価基準 7] 準学士課程の学習・教育の成果

<p>5-1 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成されており、その内容、水準等が適切であること。</p>
<p>5-2 準学士課程の教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。</p>
<p>5-3 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）並びに卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、成績評価・単位認定及び卒業認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。</p>
<p>7-1 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育の成果が認められること。</p>

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観点评価	
<p>5-1-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が学年ごとに適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえて、適切な授業科目を体系的に配置している。 すなわち、カリキュラム・ポリシーにもとづき、低学年では専門教育の基礎となる数理系一般科目を多く配置し、進級するにしたがい専門科目の比率が高くなるように配置している。さらに、学生の興味に応じた学修を担保するために高学年において選択科目を配置している。 また、シラバス内に授業科目と学科の学習・教育到達目標との対応を掲載している。ただし、対応する学習・教育到達目標の項目を「記号」により示しているだけで、該当する項目を「どのレベルまで」カバーするか示されていない。2020年度入学以降の最新の教育課程においては、</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
		<p>レベルについての議論と表記方法の検討が必要となる。</p> <p>その中で、一般教育の充実に配慮している。</p> <p>また、進級に関する規程を整備しており、1年間の授業を行う期間を定期試験等の期間を含め、35週確保することになっているが、近年新型コロナウイルス感染症への対応のため変則的な学年暦となっているので、オンデマンド形式の遠隔授業による自宅学習期間（遠隔授業期間）を含め35週を確保している。</p> <p>また、特別活動も90単位時間以上実施している。</p> <p>学則第13条の6に定める特別活動は、主に始業式・終業式（2単位時間相当×3年）と学級活動LHR（1単位時間×28週×3年）で構成される。これらの他に、定期的に朝の学級活動HRで実施される教職員による講和（モーニングトーク）を実施している。ただし、特別活動の定義を教職員・学生へ周知することや第3学年修了判定時に学生の特別活動への取り組み状況を確認することについては今後の課題である。</p>
<p>5-1-②</p> <p>教育課程の編成及び授業科目の内容について、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等が配慮されているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等を踏まえ、教育課程における具体的な配慮として、インターンシップによる単位認定、外国語の基礎能力（聞く、話す、読む、書く）の育成などを行っている。</p> <p>インターンシップによる単位認定に関して、学生のニーズおよび社会からの要請にもとづき、本校では学年進行に応じて各種キャリア教育を実施している。本科目は、本校で開催されるキャリア教育プログラムに参加し進路について知見を広めるとともに、学外実習を通じ進路への関心と理解を深めることを目的としている。2020年度卒業生においては、</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価
	<p>デザイン学科 4 名、電気工学科 9 名、機械電子工学科 47 名、情報工学科 6 名がインターンシップの単位を取得している。2019 年度の実績データでは、学外実習（企業・大学等）への参加に対する各学科の指導方針の差が、各学科の単位取得者数の差異として現れている。学外実習先の企業・大学等からのフィードバックについてはキャリアセンターを中心に収集しているものの、これを社会からの要請の一つとして捉え教育課程の編成や授業科目の内容にフィードバックすることは今後の課題である。</p> <p>外国語の基礎能力の育成に関しては、社会からの要請にもとづき、国際社会の中にあってお互いを理解し、自己を正しく表現できる力を身につけることを目的に、1 年～3 年に配当される「英語」において 4 技能の育成を意識した授業を計画・実施している。</p> <p>学生のニーズの受け皿の一つとして、4・5 年生を対象とした選択科目を開講している。選択科目の授業担当は一般教育科をはじめ全ての学科から選出されており、学生の所属学科以外の教員が担当する授業を履修できる。本校では、選択科目の開講において最小開講人数を設定しているため、全ての学生の履修希望に答えられていないことが懸案事項となっている。選択科目への履修希望は、必修選択科目（C 群）を除くと多い年度でも 200 名強（延べ人数）で、その大半は 4 年生となっている。2017 年度以前の入学者の内、デザイン学科の学生は自由選択科目（D 群）から 2 単位を取得することが卒業要件となっていたため 2020 年度までは一定数の履修者が存在していたが、2021 年度以降については履修希望者の減少が見込まれる。</p> <p>なお、学則および教務規則に他の</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
		高等教育機関で取得した単位の取り扱いについて定めているが、実際には単位互換制度を設けていない。
5-1-③ 創造力・実践力を育む教育方法の工夫が図られているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 創造力を育む教育方法の工夫、実践力を育む教育方法の工夫を行っている。この詳細は、資料 5-1-3-(1)-01_創造力や実践力を育む教育方法の実践の参照を要する。
5-2-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の適切な授業形態が採用されている。 シラバスでは、各授業科目がどのような授業形態で実施されるかを、授業形態毎の実時間として明示している。2016 年度入学生の教育課程における講義、演習、実験実習の 3 形態の授業時間（計画）を積算してみると、各学科ともに、演習および実験実習の占める割合が 50%前後となっており、講義で学んだ知識項目を定着させるために、学生が自ら手を動かして学修する機会が多くなるようにバランスの取れた教育課程を編制している。 教育内容に応じて、教材の工夫、少人数教育など学習指導上の工夫を行っている。
5-2-② 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）の趣旨に沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえて適切に設定された項目に基づきシラバスを作成され、活用されている。 教育内容（授業計画）については、必ずしも 1 授業時間（1 回の授業）毎の内容となっていない、授業形態によっては、複数回の内容をまとめて記述する方が、授業計画を把握しやすい。成績評価方法について、履修者に公開している試験成績等のデータに基づいて自らの評価を

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
		<p>算出できるよう心がけているが、成績評価基準については明記されていないものが多く今後の課題である。</p> <p>シラバス作成ガイドラインにもとづき授業担当がシラバスを作成していることを確認するために、科目開設学科長を中心に学科におけるシラバスの組織的な点検を実施し、教務主事へ点検状況を報告している。</p> <p>しかしながら、シラバスの活用状況については把握しておらず、授業担当および学生に対する調査により教員及び学生のシラバスの活用状況を把握し、その把握した状況を基に改善を行っていない点は、改善の余地があり今後の課題である。</p> <p>設置基準第 17 条第 3 項の 30 単位時間授業では 1 単位当たり 30 時間を確保している。この授業では、1 単位時間＝50 分で規定し、45 分で運用している。</p> <p>履修時間の実質化のための対策については今後検討する余地がある。</p>
<p>5-3-①</p> <p>成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。</p> <p>また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>成績評価や単位認定に関する基準を、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき策定し、教務規則として「成績評価・進級・卒業認定に関する規定」を整備し、HPでの公開ならびに授業初回にてシラバスを配布し、記載内容について解説するなどして学生に周知している。</p> <p>なお、周知に対する学生の認知状況については学校として把握できていない。</p> <p>成績評価や単位認定に関する基準に基づき、各授業科目の単位認定等を行っている。</p> <p>すなわち、定期試験後の成績操行会議および学年末の及落判定会議（5 年生は卒業判定会議）において、規則にもとづき授業科目の単位認定を実施している。なお、授業担当がシラバスの成績評価方法・基準にも</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
		<p>とづいて成績評価を実施しているか組織的に点検した実績はあるものの、点検報告書等のエビデンスを消失しているため、改組や担当者の変更にもなう文書管理の引き継ぎについては今後の課題である。</p> <p>また、追試、再試の成績評価方法を定めており、成績評価結果に関する学生からの意見申立の機会が認められている。</p> <p>なお、成績評価等の客観性、厳格性を担保するため、答案の返却、模範解答や採点基準の提示などの措置を行っている。</p>
<p>5-3-②</p> <p>卒業認定基準が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、卒業認定が適切に実施されているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/>満たしている <input type="checkbox"/>どちらともいえない <input type="checkbox"/>満たしていない</p>	<p>コメント： 学則等に、修業年限を5年と定めている。</p> <p>卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、卒業認定基準を定め、学生に周知し、卒業認定基準に基づき卒業認定を行っている。</p> <p>なお、周知に対する学生の認知状況を学校としては把握していない。</p>
<p>7-1-①</p> <p>成績評価・卒業認定の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/>満たしている <input type="checkbox"/>どちらともいえない <input type="checkbox"/>満たしていない</p>	<p>コメント： 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・卒業認定の結果から学習・教育の成果を把握・評価するための体制を整備し、学習・教育の成果を把握・評価している。</p> <p>すなわち、すべての必修科目および選択必修科目の合格をもって、学生が卒業時に身につける最低限の学力を有することを担保している。各科目の可否については成績操行会議にて、当該学年での進級の可否については及落判定会議にて、5年間の教育課程の修了については卒業判定会議にて把握・評価している。</p> <p>及落判定会議や卒業判定会議では、学生が卒業時に身につける学力に関して、必要最低限の水準を超えていることを確認している。</p> <p>これらの結果から学習・教育の成</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
		<p>果が認められる。</p> <p>ただし、学力に関して総合的・多面的に丁寧な評価を実施しておらず、また資質・能力についての把握・評価については今後の課題である。</p>
<p>7-1-②</p> <p>達成状況に関する学生・卒業生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。</p>	<p>観点を</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしている</p> <p><input type="checkbox"/> どちらともいえない</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、学生（卒業時の学生）・卒業生（卒業後5年程度経った者）・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて学習・教育の成果を把握・評価するための体制を整備しておらず、意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っていない。</p> <p>したがって、学習・教育の成果が確認できていない。</p>
<p>7-1-③</p> <p>就職や進学といった卒業後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育の成果が認められるか。</p>	<p>観点を</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしている</p> <p><input type="checkbox"/> どちらともいえない</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>学校として把握している最近5年間の就職率及び進学率から判断して、学習・教育の成果が認められる。</p> <p>学校として把握している就職先や進学先は、各学科の養成しようとする人材像に適したものとなっている。</p>

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成されており、その内容が適切である。

準学士課程の教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されている。

準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）並びに卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、成績評価・単位認定及び卒業認定が行われており、ある程度有効なものとなっている。

卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育の成果が一定程度認められる。

[長所として特記すべき事項]

[努力課題]

各学科においては創造力・実戦力を育む教育について継続して取り組んでいることが確認でき、デザイン学科の学生をはじめとした着実な成果が見られる。したがって、今後、各学科は本校の方針に沿った教育計画（P）となっているかを見直し、実施状況（D）の報告と教育効果（C）の検証を必要とする。

学習・教育到達目標や 2016 年度入学・2020 年度卒業の教育課程のねらいにもとづいて、ディプロマポリシーやカリキュラムポリシーが設定されていることを、ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーの一対一の対応を整理し、カリキュラムポリシーをどのような科目群で実践しているかを見える化（科目関連図等）することを目指して、教育課程が計画された経緯やディプロマポリシー設定時の経緯について現存する資料を精査し、既存の科目関連図の確認・改訂を早急に行うことを期待したい。

シラバスの活用状況については十分に把握されていないので、現在実施しているシラバスの活用状況についての学生・教員へのアンケート調査の整理によりその早急な把握に基づき改善が行われることを期待したい。

学力に関して総合的・多面的に丁寧な評価を実施しておらず、また資質・能力についての把握・評価については現在の課題であるので、総合的・多面的な丁寧な評価のために実施中の学生・卒業生や就職先へのアンケート調査結果の早急な整理と、次年度の機関別認証評価の点検書への掲載を目指した調査結果に対する評価・分析作業の進捗に期待したい。

成績評価方法について、履修者に公開している試験成績等のデータに基づいて自らの評価を算出できる心がけているが、成績評価基準については明記されていないものが多く今後の課題である。

学力以外の資質・能力の把握・評価は、成績評価基準（水準）の設定に依存しており、短期間での実施は困難さを伴うので、2020 年度以降の入学生向けの教育課程に対して卒業生や進路先へのアンケート調査結果の分析も議論のための一資料として用い、2023 年度までに卒業生が身に着けるべき学力・資質・能力等の水準を明確にするとしているので、この実現を期待したい。

卒業認定基準の周知に対する学生の認知状況を学校としては把握していない点の改善が求められるが、これについても、学生へのアンケート調査の整理により活用状況の早急な把握に期待したい。

[改善勧告]

ディプロマポリシーと各学科の学習・教育到達目標との対応や教育課程の見直しにともなう教育プログラムの更新が不十分であるとともに、その際の議論（議事録）や決定事項をまとめた文書を紛失しており、本校での改組や担当者の変更にともなう文書管理等を改善する必要がある。さらに、卒業生は必修科目および選択必修科目の単位を取得しているものの、どの程度の水準でディプロマポリシーの能力を身につけているか把握できていないので、学習・教育到達目標に関して卒業生が身につけるべき水準を明らかにする必要がある。

組織の在り方や文書管理に関する事項については、早急に委員会等の役割と権限を見直し、その中で事務局と文書管理についてさらに明確にする必要性を感じるが、当面各委員会等での会議資料・議事録の保管を徹底することを期待したい。

授業科目の単位取得状況だけでなく、卒業生へのインタビューや進学・就職先による卒業生の評価

など多様で多面的な評価の視点も欠けている。この点の改善に向けた対応の考え方具体的施策の策定が必要である。

該当する観点

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

観点 4: 入学者受入れの方針に基づく活動について(準学士課程)

[機関別認証評価基準 6] 準学士課程の学生の受入れ

<p>6-1 入学者の選抜が、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な方法で実施され、機能していること。また、実入学者数が、入学定員と比較して適正な数となっていること。</p>

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
<p>6-1-① 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。</p>	<p>観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）、特に入学者選抜の基本方針に沿った入学者選抜方法（学生募集の方針、選抜区分（学力選抜、推薦選抜等）、面接内容、配点・出題方針等。）となっている。 これに沿って実際の学生の受入れが適切に実施されているとする明確な記述が認められない。</p>
<p>6-1-② 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を実際に受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。</p>	<p>観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： 検証及び検証結果を改善に役立てる体制が整備され、同体制の下、実際に入学した学生が、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿っているかどうかアンケート等の実施により検証を行っている。 また、その結果を入学者選抜の改善に役立っている。</p>
<p>6-1-③ 実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。</p>	<p>観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： 学生定員を学科ごとに1学級当たり40人を標準として、学則で定められており、学科ごとの入学定員と実入学者数との関係を把握し、改善を図るための体制を整備している。 その結果、過去5年間の学科ごとの入学定員に対する実入学者数が適正であるとしている。 なお、入学定員に対して実入学者が大幅に超過した場合の学習環境の</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価
	悪化（教室が密になる）を防ぐために、1.5 倍の大きさの教室を準備している。また、ティーチング・アシスタントを配置する授業（主に演習授業）については、通常よりも多くの人数を配置するなどの対応も行っている。

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

入学者の選抜が、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な方法で実施されていることは理解できるが、実入学者数が、入学定員と比較して適正な数となっているかについては、在籍者数を示す明確な資料を確認したい。
その後、これらが機能しているか否かの判断をしたい。

[長所として特記すべき事項]

[努力課題]

定員を大幅に超過した状況の改善の取組として、AO入試の内申基準の加点の取扱いを3点から2点へ変更した。AO入試の出願基準の微調整（模擬試験結果、内申基準の加点 2017年度入試～）について議事録で確認したとあるが、明文化されていなかったため、この明文化を期待したい。

[改善勧告]

該当する観点

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

観点 3+4: 教育課程編成・実施の方針に基づく活動について(専攻科課程)

入学者受入れの方針に基づく活動について(専攻科課程)

[機関別認証評価基準 8] 専攻科課程の教育活動の状況

<p>8-1 専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成され、専攻科課程としてふさわしい授業形態、学習指導法等が採用され、適切な研究指導等が行われていること。また、専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）並びに修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、成績評価・単位認定及び修了認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。</p>
<p>8-2 専攻科課程としての入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切に運用されており、適正な数の入学状況であること。</p>
<p>8-3 修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育・研究の成果が認められること。</p>

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
<p>8-1-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。</p>	<p>観点を ☑満たしている ☐どちらともいえない ☐満たしていない</p>	<p>コメント： 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されている。 JABEE 認定プログラムの認定においても、「本カリキュラムにおいて、プログラム修了要件を満たすことにより、学習・教育到達目標を全て達成できるように設計されている。」と評価されている。</p>
<p>8-1-② 準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっているか。</p>	<p>観点を ☑満たしている ☐どちらともいえない ☐満たしていない</p>	<p>コメント： 準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっている。 JABEE 認定プログラムの認定においても、「本プログラムは工学（融合複合・新領域）分野であるため、専攻科では自身が準学士課程において専攻してきた分野だけでなく、他の分野を学習し、これらを複合化す</p>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
		<p>る必要がある。主たる専攻の分野と他分野の科目は準学士課程卒業学科によって異なり、また分野別要件として、「基礎工学の知識・能力科目には、①設計・システム系科目群、②情報・論理系科目群、③材料・バイオ系科目群、④力学系科目群、⑤社会技術系科目群の5科目群があるが、各科目群から少なくとも1科目、合計最低6科目以上を修得していること」が明記されるなど、他分野科目を含め幅広い分野の科目を修得することがプログラム修了要件の一つとなっている。」と評価されている。</p>
<p>8-1-③ 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の適切な授業形態が採用されており授業形態のバランスが適切である。 この点は、JABEE 認定プログラムの認定においても、「専攻科は講義30、演習8、実験実習18（1は22.5時間）で構成されており、特例適用専攻科の基準も満たしていることから、バランスが適切であると考えられる。」と評価されている。 なお、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫については、説明がなされていない。</p>
<p>8-1-④ 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教養教育や研究指導が適切に行われているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教養教育や研究指導が適切に行われている。 特例適用専攻科の認定においても、「電気電子工学区分の教員11名、情報工学区分教員4名で専攻科の特別研究を実施しており、各個票に教員の専門に合わせた研究教育手順が示されている。学生は各教員の個票に従って研究活動を行い、毎年学会にも参加している。」と評価さ</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
<p>8-1-⑤ 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>れている。</p> <p>コメント： 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。</p> <p>JABEE 認定プログラムの認定においても、「成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定されている。同内容についてはシラバスの説明と共に学生に周知されている。」と評価されている。</p> <p>成績評価・単位認定については修了判定会議及び成績操行会議において適切に実施している。修了判定会議及び成績操行会議ではシラバスに記載されている通りに適切な成績評価・単位認定を行っているかを確認している。</p> <p>また、1単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45時間である授業科目を配置している場合、授業時間以外の学修についての評価がシラバス記載どおりに行われていることを学校として把握しているかならびに学生の認知状況を学校として把握しているか、についても記述が不十分である。</p> <p>追試については教務規則第35条に定められており、再試験については準学士課程の教務諸規定[1]試験に関する規第4条に準拠して実施されている。</p> <p>成績評価・単位認定については修了判定会議及び成績操行会議において適切に実施している。修了判定会議及び成績操行会議ではシラバスに記載されている通りに適切な成績評価・単位認定を行っているかを確認している。</p> <p>成績評価結果に関する学生からの意見申立の機会としては本校の準学</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
		<p>士課程と同様に「成績通知書」の内容に対して学生が意見できる機会として「成績等調査制度」を設けられている。さらに、HRにて専攻科科长に申し立てを行うことができるようになっており、同件については4月の専攻科オリエンテーション(OT)において、全学生に周知している。</p> <p>また、成績評価等の客観性、厳格性を担保するため、準学士課程と同様に定期試験や課題については採点后、学生へ返却することとなっており、学生はそれを用いてシラバスに記載された成績評価方法・基準に基づき、自らの成績評価を検証することができる。</p>
<p>8-1-⑥ 修了認定基準が、修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、修了認定が適切に実施されているか。</p>	<p>観点を ☑満たしている □どちらともいえない □満たしていない</p>	<p>コメント： 修了認定基準が、修了の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に従って、組織として策定され、学生に周知されている。また、修了認定が適切に実施されている。</p> <p>JABEE認定プログラムの認定においても、「HPで公開されているディプロマポリシーに従って、修了認定が適切に策定され実施されている。また「生産システム工学教育プログラムの修了要件」が書かれた「履修の手引き」は学生に配布されている。」と評価されている。</p> <p>なお、学生の認知状況を学校として把握しているかについては記述されていない。</p>
<p>8-2-① 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)に沿って適切な入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。</p>	<p>観点を ☑満たしている □どちらともいえない □満たしていない</p>	<p>コメント： 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)、特に入学者選抜の基本方針に沿った入学者選抜方法(学生募集の方針、選抜区分(学力選抜、推薦選抜等)、面接内容、配点・出題方針等)となっている。</p> <p>学力については学力試験を実施し(専攻科募集概要)、本学卒業者を対象に行われる学力試験免除の選抜</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
		<p>方法では、準学士課程の成績および面接試験の結果で判定を行っている（専攻科入試に関する受け入れ方法について）。アドミッション・ポリシーに書かれた学力以外の資質については面接試験において判定している。専攻科会議で検討された入学者選抜方法は学校長の承認を経て入学者選抜に用いられる。専攻科会議では、実施された入学者選抜の結果（基礎学力、主体性、論理的思考、技術者としての姿勢、コミュニケーション能力に対する総合的な評価）を整理し、それを基に入学者判定会議（学校運営会議）において学校長が合格者を決定する。これらの詳細は専攻科入試規程に定められている。</p>
<p>8-2-② 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： アドミッション・ポリシーに沿った学生を受入れているかどうかの検証及び検証結果を改善に役立てる体制を整備している。 すなわち、入試の面接方法などについては、専攻科担当教員をメンバーとする専攻科会議で議論を行い、見直しや改善を行っている。 また、成績票や達成度チェックシートの実施により、アドミッション・ポリシー(AP)に沿った学生が入学しているか、また、学生生活を送るうえでどのようなサポートが必要かなど、成績操行会議で検討をしている。 専攻科会議で議論を行い、専攻科入試に関する受け入れ方法を決定した（専攻科会議で検討を行い、専攻科長が AMC へ進言する形をとっている）。現在、同方法を用いて入試を実施し、チェックを行っている。 また、AP に沿った学生を受け入れているかどうかについて専攻科科長面談資料及び分析チェックリスト AP に関する項目を用いて検証した結果として、問題学生への</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
<p>8-2-③</p> <p>実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。</p>	<p>観点を</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしている</p> <p><input type="checkbox"/> どちらともいえない</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>対応の仕方を含む対応策が明示されている。</p> <p>コメント：</p> <p>学生定員（定員：14名、最大供人数20名+a）を専攻ごとに学則等で定めている。</p> <p>専攻ごとの入学定員と実入学者数との関係を把握し、改善を図るための体制として、専攻科担当教員をメンバーとする専攻科会議で検討を行い、専攻科長が AMC へ進言する形を整えている。</p> <p>過去5年間の専攻ごとの入学定員に対する実入学者数（2017年度14名、2018年度10名、2019年度11名、2020年度15名、2021年度22名）が適正（2021年度（コロナ禍で例年とは異なる受験者数であった）が大幅に超過しているがそれ以外は定員程度）である。</p> <p>過去5年間で、実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況にあった場合は、改善の取組を行っている。</p> <p>具体的には、専攻科会議で検討を行い、改善をしている。なお、2021年度（コロナ禍で例年とは異なる受験者数であった）が大幅に超過しているがそれ以外は定員程度である。現在、奨学生の基準の見直しを行っている。</p>
<p>8-3-①</p> <p>成績評価・修了認定の結果から判断して、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。</p>	<p>観点を</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしている</p> <p><input type="checkbox"/> どちらともいえない</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・修了認定の結果から学習・教育・研究の成果を把握・評価するための体制を特別研究担当教員による評価体制として整備している。</p> <p>学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・修了認定の結果から学習・教育・研究の成果を「専攻科修了判定会議」において把握・評価している。</p> <p>これらから、学習・教育・研究の成果が認められる。</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
<p>8-3-②</p> <p>達成状況に関する学生・修了生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/>満たしている <input type="checkbox"/>どちらともいえない <input type="checkbox"/>満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力について、学生・修了生・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて、学習・教育・研究の成果を把握・評価するための体制を整備している。</p> <p>具体的には、達成度評価シートの活用し指導教員と学生間で達成度評価シートを基に面談が行われ、その結果がコメント欄に記述される。達成度評価シートについては教育システム委員会で検討。</p> <p>学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、修了時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を行っている。すなわち、達成度評価シートの実施により、学生の自己評価も把握している。その結果、学習・教育・研究の成果が認められると判断する。</p> <p>学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、修了生（修了直後でない者）に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を行っていないので今後の検討課題である。</p> <p>また、学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、進路先関係者等に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を行っていないので今後の課題である。</p> <p>したがって、評価結果から学習・教育・研究の成果が十分に認められとは言えない。</p>
<p>8-3-③</p> <p>就職や進学といった修了後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/>満たしている <input type="checkbox"/>どちらともいえない <input type="checkbox"/>満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>学校として把握している最近5年間の就職率及び進学率から判断して、学習・教育・研究の成果が認められる。</p> <p>学校として把握している就職先や進学先は、各専攻の養成しようとする人材像に適したものとなってい</p>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
		る。
8-3-④ 修了生の学位取得状況から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 過去5年間の修了生の学位取得の状況から、学習等の成果が認められる。 すなわち、過去5年間の修了生は全員学位取得している。

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成され、専攻科課程としてふさわしい授業形態、学習指導法等が採用され、適切な研究指導等が行われていること。また、専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）並びに修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、成績評価・単位認定及び修了認定が適切に行われており、有効なものとなっている。

専攻科課程としての入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切に運用されており、適正な数の入学状況である。

修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育・研究の成果が認められる。

すなわち、過去5年間の修了生は全員学位取得している。

[長所として特記すべき事項]

達成度チェックシートを用いた学生の自己点検とそれをもとに行っている指導教員とのディスカッションは学生が目標とする技術者像へ近づくための方法として有用であると考えられる。

[努力課題]

カリキュラム・ポリシー(CP)に基づき、適切な授業形態が採用されているかについては新たに「授業形態と履修状況」を用いて開講科目の実施形態（講義、演習、実験実習）の状況を把握・分析し、「分析チェックリスト__CPに関する項目」を用いてCPに沿って授業科目が適切に配置されて、評価が適切に実施されているかなどを確認・分析している。これらの作業は本年度より専攻科会議で実施しており、そこでは分析・確認し、講義、演習、実験、実習等のバランスは適切であると判断し、また、個々のシラバスについてもCPに従って適切に作成されていることを確認している。なお、CPの一つ「基礎力、人間性及び国際性に関する科目が必修科目の中心となっている」について、本年度より、「人間性」に関する科目「伝統文化特論」と「技術史」が必修科目となっていない件については、これらと「単位互換科目」を新たに「分野別要件を有する選択必修科目（⑤群）」（2科目以上を履修することが要件）とすることによって、学生のニーズに合わせた科目設計ができるようになってきている。ただ、「分野別要件を有する選択必修科目（⑤群）」の中身のに関する資料が明示されていないので、確認できない。

1 単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45時間である授業科目を配置している場合、授業時間以外の学修についての評価がシラバス記載どおりに行われていることを学校として把握しているかならびに学生の認知状況を学校として把握しているかについての現状は下記のとおりである。

学修単位科目については、現在、「自学学習時間」のみをシラバスに明記し、自学学習時間に行う課題の内容や同課題の評価方法に関する説明については各担当者に任せている状況であるので、自学学習の内容と評価方法をシラバスに次年度より明記するように要請を出し対応することを、「専攻科会議議事録_2月」で確認した。また、同項目に対する学生の認知状況については次年度の授業アンケート（シラバスに関する項目）を用いる予定であるとの説明がなされたので、この早急なとりまとめを期待したい。

学生の認知状況については次年度の授業アンケート（シラバスに関する項目）を用いる予定であるので、その成果を期待したい。

[改善勧告]

学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、修了生（修了直後でない者）に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を行っていないので今後の検討課題である。

また、学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、進路先関係者等に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を十分には行われていないので今後の課題である。

したがって、評価結果から学習・教育・研究の成果が十分に認められとは言えない。

本年度より開始した修了生と進路先関係者を対象としたアンケート調査結果の専攻科会議で分析等を期待したい。なお、ディプロマ・ポリシー(DP)についても分析確認項目をリスト化した「分析チェックリスト_DPに関する項目」を用いて3月の専攻科会議等でチェックする体制を新たに整備しつつあるので、これらの有機的な活用を期待したい。

該当する観点

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項]（[基準に対する観点]番号を記載してください。）

--

[要求する追加資料]（[基準に対する観点]番号を記載してください。）

--

観点 5: 研究活動支援の方針に基づく活動について

[機関別認証評価選択的評価事項 A] 研究活動の状況

<p>A-1 高等専門学校の研究活動の目的等に照らして、必要な研究体制及び支援体制が整備され、機能しており、研究活動の目的に沿った成果が得られていること。</p>

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
<p>A-1-① 研究活動に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/>満たしている <input type="checkbox"/>どちらともいえない <input type="checkbox"/>満たしていない</p>	<p>コメント： 研究活動に関する目的、基本方針、目標等を適切に定めている。 すなわち、教員の研究力を高め、その研究活動を教育の質の改善に役立てることを目的としている。</p>
<p>A-1-② 研究活動の目的等に照らして、研究体制及び支援体制が適切に整備され、機能しているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/>満たしている <input type="checkbox"/>どちらともいえない <input type="checkbox"/>満たしていない</p>	<p>コメント： 学校が設定した研究活動の目的等を達成するための実施体制、設備等を含む研究体制(研究室、共用研究室(情報館、無響温室、アーク溶解炉、高電圧発生装置、NC加工室、暗室など)を整備している。 本校には各科、各部署から選出された委員で構成される研究委員会が設けられており、種々な研究活動の支援を行っている。 また、学校が設定した研究活動の目的等を達成するための支援体制(課題研究費、外部講師による科研費申請執筆講習会、学生の学外発表を支援する課題研究予備費、外部資金申請に関する情報共有メール、査読論文掲載料補助等)を整備している。 これらの体制の下、研究活動が十分に行われている。</p>
<p>A-1-③ 研究活動の目的等に沿った成果が得られているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/>満たしている <input type="checkbox"/>どちらともいえない <input type="checkbox"/>満たしていない</p>	<p>コメント： 学校が設定した研究活動の目的等に照らして、成果が得られている。 ポータルサイトに示すように研究力の向上や教育の質の向上、学生の研究活動、表彰等が得られている</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
		が、その評価値などは現時点で出してはいない。これは今後の課題になると考える。
<p>A-1-④</p> <p>研究活動等の実施状況や問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。</p>	<p>観点を</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>満たしている</p> <p><input type="checkbox"/>どちらともいえない</p> <p><input type="checkbox"/>満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>観点A-1-③で把握した成果を基に問題点等を把握し、それを改善に結び付けるための体制を整備している。</p> <p>すなわち、研究活動の公開の場として、学会に所属していない教員については研究紀要の執筆を促し、それに伴い研究費として課題研究費を支給するなど研究の推進体制がある。また、すでに研究を実施している教員については研究不正に関する研修や科研費の申請に関する勉強会などを行っている。</p> <p>また、研究紀要投稿数の減少に伴い、研究紀要を活性化させるだけでなく、研究紀要を研究経験の少ない教員に対する論文投稿の練習となるように種々な改定を行っている。</p> <p>この中で、研究紀要投稿を条件に課題研究費の申請資格としている。</p>

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

高等専門学校の研究活動の目的等に照らして、必要な研究体制及び支援体制が整備され、機能しており、研究活動の目的に沿った成果がある程度得られていることは確認できる。

[長所として特記すべき事項]

[努力課題]

ポータルサイトに示すように研究力の向上や教育の質の向上、学生の研究活動、表彰等が得られているが、その評価値などは現時点で出してはいない。これは今後の課題になると考える。

また、研究力向上などに関する評価値などは設けておらず、これについても改善が必要であると考える。

研究活動の目的等に沿った成果の評価値について、実施中の「研究活動に関する教員アンケート」結果を用いた目的や目標の達成度分析に期待したい。

研究活動の支援は十分であるとは言えない。研究日（裁量日）を設けてはいるが、十分な研究時間を確保できているとは言えず、担当授業数の調整など課題は多い。

同項目について、まずは現状把握が必要であると考え、上述した「研究活動に関する教員アンケート」に加えて、「研究支援に関する教員アンケート」を実施し、研究環境の改善点の見える化を行っているとのことであるので、その成果を期待したい。

[改善勧告]

該当する観点	

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項]（[基準に対する観点]番号を記載してください。）

--

[要求する追加資料]（[基準に対する観点]番号を記載してください。）

--

観点0：基本方針(ディプロマ・ポリシー)に基づく活動

[機関別認証評価基準1] 教育の内部質保証システム

<p>1-1 教育活動を中心とした学校の総合的な状況について、学校として定期的に学校教育法第109条第1項に規定される自己点検・評価を行い、その結果に基づいて教育の質の改善・向上を図るための教育研究活動の改善を継続的に行う仕組み（以下「内部質保証システム」という。）が整備され、機能していること。</p>
<p>1-2 準学士課程、専攻科課程それぞれについて、卒業（修了）の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）（以下「三つの方針」という。）が学校の目的を踏まえて定められていること。</p>
<p>1-3 学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されていること。</p>

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
<p>1-1-① 教育活動を中心とした学校の活動の総合的な状況について、学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針、体制等が整備され、点検・評価の基準・項目等が設定されているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： 資料 1-1-①-(1)-02 のP.4（赤枠）において、「募集統括長」の説明が不足。この資料だけを見て「統括責任者」との違いが理解できない。</p>
<p>1-1-② 内部質保証システムに基づき、根拠となるデータや資料に基づいて自己点検・評価が定期的に行われ、その結果が公表されているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p>
<p>1-1-③ 学校の構成員及び学外関係者の意見の聴取が行われており、それらの結果が自己点検・評価に反映されているか。</p>	<p>観点を <input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： 卒業生や企業のアンケートのエビデンス資料が不足しているのではないか。</p>
<p>1-1-④ 自己点検・評価や第三者評価等の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるような組織としての体制が整備され、機能しているか。</p>	<p>観点を <input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： 体制はしっかりと整備されているが、会議議事録などのエビデンスが不足していて、組織としてシステムが機能しているかが見えにくい。 特に、2017年度以降のエビデンス資料を提示してはどうか。</p>
<p>1-2-①</p>	<p>観点を</p>	<p>コメント：</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
<p>準学士課程の卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	
<p>1-2-② 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性を持ち、学校の目的を踏まえて明確に定められているか。</p>	観点を <input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーの整合性が、学生や保護者が理解できる内容になっているとは言い難い。二つのポリシーの1対1対応関係をより明確にする必要があると思われる。 また、機関別認証評価では、学習成果をどのように評価するのか（学習成果の評価方法）を、ここで示すことが要求される。
<p>1-2-③ 準学士課程の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。</p>	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
<p>1-2-④ 専攻科課程の修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。</p>	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
<p>1-2-⑤ 専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）が、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性を持ち、学校の目的を踏まえて明確に定められているか。</p>	観点を <input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーの整合性が、学生や保護者が理解できる内容になっているとは言い難い。二つのポリシーの1対1対応関係をより明確にする必要があると思われる。 また、機関別認証評価では、学習成果をどのように評価するのか（学習成果の評価方法）を、ここで示すことが要求される。
<p>1-2-⑥ 専攻科課程の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。</p>	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
<p>1-3-① 学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されているか。</p>	観点を <input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 「学校の目的及び三つの方針の見直しを審議している資料」（見直しした実績、あるいは見直しについての

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
	□満たしていない	議事録などのエビデンス資料)が要求される。

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

「サレジオ工業高等専門学校自己点検・評価の方針」を定めている。また自己点検評価委員会を設置し規程を定めている。

内部保障システムが整備され、かつ機能していると思われる。

三ポリシーが、学校の目的を踏まえて適切に定められている。

しかし、エビデンスとなる資料が充分ではないところがあるように思われる。特に、近年の資料の提示が充分でないところがある。今後、定期的にデータや資料を収集・蓄積していくことが望まれる。

[長所として特記すべき事項]

「教学の内部保証について」において、内部保証システムや個々の教学活動の責任者（あるいは責任部署）がわかり易くまとめられている。

[努力課題]

1. 教育研究活動の改善を継続的に行う仕組みがしっかりと作られているが、チェックの結果が改善につながっていること（改善の実績）を示すエビデンス資料を蓄積しておくことが必要であると思われる。
2. 学校の構成員及び学外関係者の意見の聴取、特に卒業生や企業のアンケートのエビデンス資料が不足していると思われるので、近年の資料を中心に提示してはどうか。会議議事録なども含む。
3. 機関別認証評価も近年大きく変化しており、指摘される事項も変わっている。例えば、カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーの整合性に関していえば、両ポリシーの1対1対応関係をより明確にするよう指摘される可能性があると思われる。
また、学習成果をどのように評価するのか（学習成果の評価方法）を、ここで示すことが要求されることがある。
4. この観点だけではないのですが、同一資料に複数の資料ナンバーが付けられており、評価委員としてはわかりにくく感じた。

[改善勧告]

該当する観点

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

観点1：FDの方針に基づく活動

[機関別認証評価基準2] 教育組織及び教員・教育支援者等

<p>2-1 学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なものであること。 また、教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能していること。</p> <p>2-2 教育活動を展開するために必要な教員が適切に配置されていること。</p> <p>2-3 全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われていること。また、教員の採用及び昇格等に当たって、明確な基準や規定が定められ、それに従い適切な運用がなされていること。</p> <p>2-4 教員の教育能力の向上を図る取組が適切に行われていること。また、教育活動を展開するために必要な教育支援者等が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。</p>

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
2-1-① 学科の構成が、学校の目的に照らして、適	観点を ■満たしている	コメント：

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
切なものとなっているか。	<input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	
2-1-② 専攻の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
2-1-③ 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制が整備され、教育活動等に係る重要事項を審議するなどの必要な活動が行われているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
2-2-① 学校の目的を達成するために、準学士課程に必要な一般科目担当教員及び各学科の専門科目担当教員が適切に配置されているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
2-2-② 学校の目的を達成するために、専攻科課程に必要な各分野の教育研究能力を有する専攻科担当教員が適切に配置されているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
2-2-③ 学校の目的に応じた教育研究活動の活性化を図るため、教員の年齢構成等への配慮等適切な措置が講じられているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 機関別認証評価では、教員の学位取得に関する支援の実績について問われることがある。
2-3-① 全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われており、その結果が活用されているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 「評価実施試行内規」を定めて評価を適切に実施し、教員評価の結果を基に給与における措置を行うことは確認できたが、機関別認証評価では実績の示す資料を求められることがある。
2-3-② 教員の採用や昇格等に関する基準や規定が明確に定められ、適切に運用されているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 教員任用規定が定められ、適切に運用されていることが確認できた。
2-4-① 授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究（ファカルティ・ディベロップメント）が、適切な方法で実施され、組織として教育の質の向上や授業の改善が図	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： FD や SD が定期的に実施され、教育改善に結びついている実績を示す資料が欲しいところである。

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
られているか。		
2-4-② 学校における教育活動を展開するために必要な事務職員、技術職員等の教育支援者等が適切に配置されているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
2-4-③ 教育支援者等に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組が適切に行われているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 学校として実施しているピアレビューなどのエビデンスもあれば、資料として提出するのも良いと思われる。

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なものであり、また教育活動を展開する上で必要な運営体制、教員が適切に整備・配置され、機能している。

教員の教育研究活動に対して学校による定期的な評価が行われ、教員の採用及び昇格等に当たっても明確な基準や規定が定められ、それに従い適切な運用がなされている。

教員の教育能力の向上を図る取組が適切に行われ、また、教育活動を展開するために必要な教育支援者等が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われている。

[長所として特記すべき事項]

[努力課題]

FDやSDが定期的実施され、教育改善に結びついている実績を示す資料が欲しいところである。

[改善勧告]

該当する観点	

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

観点 2: 学生支援の方針に基づく活動

[機関別認証評価基準 3] 学習環境及び学生支援等

<p>3-1 学校において編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されていること。また、ICT環境が適切に整備されるとともに、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されていること。</p>
<p>3-2 教育を実施する上での履修指導、学生の自主的学習の相談・助言等の学習支援体制や学生の生活や経済面並びに就職等に関する指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能していること。また、学生の課外活動に対する支援体制等が整備され、機能していること。</p>

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
<p>3-1-① 学校において編成された教育研究組織の運営及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されているか。</p>	<p>観點を <input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： 施設等の利用状況や満足度などを学校として把握し、改善するための体制において改善を行っていると推測するが、そのエビデンスとなる資料が必要である。</p>
<p>3-1-② 教育内容、方法や学生のニーズに対応したICT環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。</p>	<p>観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： ICT環境が規定に基づいたセキュリティ管理体制のもと、体制が整備されているが、学生や教職員に対する情報セキュリティガイダンスや研修を実施していることが確認できる資料が必要である。 また、ICT環境の利用状況（利用実績数など）や満足度（アンケートなど）などを学校として把握し、改善するための体制において改善を行っていると考えているが、そのエビデンスとなる資料が必要である。</p>
<p>3-1-③ 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。</p>	<p>観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p>
<p>3-2-① 履修等に関するガイダンスを実施しているか。</p>	<p>観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない</p>	<p>コメント： ガイダンス資料や履修の手引き、利用のしおり等は、しっかりと整備さ</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
	ない <input type="checkbox"/> 満たしていない	れていることは確認できる。
3-2-② 学習支援に関する学生のニーズが適切に把握され、学生の自主的学習を進める上での相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 学生のニーズが適切に把握され、相談・助言等を行う体制が整備されていることが確認できる。
3-2-③ 特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等を適切に行うことができる体制が整備されており、必要に応じて支援が行われているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 特別な支援を必要とする学生（留学生・編入学生・障がいのある学生）の学習および生活に対する支援体制およびその状況が確認できる資料が不足している。
3-2-④ 学生の生活や経済面に係わる指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 学生支援センターが関係部署と連携してケア・サポートを行っている。
3-2-⑤ 就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制が整備され、機能しているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： キャリアセンターを設置し、就職や進学等の進路指導を含めたキャリア教育を実施している。
3-2-⑥ 学生の部活動、サークル活動、自治会活動等の課外活動に対する支援体制が整備され、適切な責任体制の下に機能しているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 学生の部活動、サークル活動、学友会活動等の課外活動については、学生主事、学生主事補による支援体制が整備され、支援を行っている。
3-2-⑦ 学生寮が整備されている場合には、学生の生活及び勉学の場として有効に機能しているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備の他、ICT環境、図書、学術雑誌、視聴覚資料などが整備され、適切に有効に活用されていると思われる。

また、学生のニーズが適切に把握され、相談・助言等を行う体制が整備されていることは確認できる。しかし、利用状況（利用実績数など）や満足度（アンケートなど）などを学校として把握し、改善を行っている資料が不足しており、アピールが少ないと思われる。

~~特別な支援を必要とする学生（留学生・編入学生・障がいのある学生）の学習および生活に対する支援体制およびその状況が確認できない。~~

--

[長所として特記すべき事項]

学生の生活や経済面に係わる指導・相談・助言等を行う体制がしっかりと整備され、機能していることが確認できる。

[努力課題]

特別な支援を必要とする学生（留学生・編入学生・障がいのある学生）の学習および生活に対する支援体制およびその状況が確認できる資料の保存が必要である。

[改善勧告]

該当する観点

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項]（[基準に対する観点]番号を記載してください。）

--

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

設備の利用状況（利用実績数など）や満足度（アンケートなど）などを学校として把握し、改善を行っている資料

観点3：教育課程編成・実施の方針に基づく活動について(準学士課程)

[機関別認証評価基準5] 準学士課程の教育課程・教育方法

[機関別認証評価基準7] 準学士課程の学習・教育の成果

5-1 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成されており、その内容、水準等が適切であること。
5-2 準学士課程の教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。
5-3 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）並びに卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、成績評価・単位認定及び卒業認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。
7-1 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育の成果が認められること。

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観点评価	
5-1-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が学年ごとに適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。	観点を <input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 教育課程表からでは、教育目標と授業科目の対応は確認できるが、カリキュラムポリシーで定められた内容と各授業科目が対応付けられていることを確認できないので、資料を基に補足説明が必要であると思われる。
5-1-② 教育課程の編成及び授業科目の内容について、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等が配慮されているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： インターンシップ、外国語の他、多数の選択科目を開講し教育している。特に、「英語」において4技能の育成を意識した授業が計画・実施されるなど、国際対応力を育む教育上の工夫が行われており、大いに評価される。
5-1-③ 創造力・実践力を育む教育方法の工夫が図られているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 創造力・実践力を育む教育としての科目が、各学科に用意され、実施されている。

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
<p>5-2-①</p> <p>教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。</p>	<p>観点を</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしている</p> <p><input type="checkbox"/> どちらともいえない</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>演習や実験実習の割合が高く、学生が理解しやすいように種々の工夫がなされているのがわかる。</p>
<p>5-2-②</p> <p>教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）の趣旨に沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。</p>	<p>観点を</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしている</p> <p><input type="checkbox"/> どちらともいえない</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>シラバスの作成はガイドラインにしたがい適切に作成され、点検されていることが確認できる。</p> <p>しかし、アンケートなどにより、教員及び学生のシラバスの活用状況を把握し、その結果を基に改善を行っていることを示す資料が不足しているように思われる。</p>
<p>5-3-①</p> <p>成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。</p> <p>また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。</p>	<p>観点を</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしている</p> <p><input type="checkbox"/> どちらともいえない</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>本試験だけでなく、追試験、再試験、認定試験等の成績評価の方法についてもしっかりと定められている。</p> <p>教員間によるピアレビューが行われているようではあるが、機関別認証評価では、成績分布のガイドラインの設定、同一問題が繰り返し使われていないかのチェック、試験問題のレベルチェックなど、厳しく指摘されるので注意を要する。</p>
<p>5-3-②</p> <p>卒業認定基準が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、卒業認定が適切に実施されているか。</p>	<p>観点を</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしている</p> <p><input type="checkbox"/> どちらともいえない</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>学習・教育の成果を評価・把握するための基準が組織として作成され、学生に周知されている。</p>
<p>7-1-①</p> <p>成績評価・卒業認定の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。</p>	<p>観点を</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしている</p> <p><input type="checkbox"/> どちらともいえない</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p> <p>学習・教育・研究の成果を把握・評価するための体制が、規定に基づき整備されている。</p> <p>ただし、機関別認証評価では、CP と DP の整合性が明確ではないために、CP に基づいて定めた課程の単位を修得しただけでは DP に沿った学習・教育が行われていると判断できないと指摘される可能性もある。</p>
<p>7-1-②</p> <p>達成状況に関する学生・卒業生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断し</p>	<p>観点を</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない</p>	<p>コメント：</p> <p>在学生・卒業時の学生・卒業生・就職先からのアンケート結果などの資</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
て、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。	ない <input type="checkbox"/> 満たしていない	料が不足しており、確認が難しい。
7-1-③ 就職や進学といった卒業後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	観点を ■ 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない ない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 最近の就職率及び進学率から判断して、学習・教育の成果が認められる。 就職率・進学率は十分に高く、就職先は当校が育成する技術者像に相応しい業種が多くなっている。

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

準学士課程のカリキュラムポリシーに基づき、教育課程が体系的に編成され、その内容や水準等が適切であると思われる。結果として、実施されている教育に多くの特色と長所が確認できる。

しかし、一部の資料が不足、あるいは補足説明が必要な点がある。

就職率及び進学率から判断して、学習・教育の成果が認められる。

就職率・進学率は十分に高く、就職先は当校が育成する技術者像に相応しい業種が多くなっている。

[長所として特記すべき事項]

1. インターンシップ、外国語の他、多数の選択科目を開講し教育していることは大いに評価される。

2. 演習や実験実習の割合が高く、高専らしい実学教育が実施されている。また、学生が理解しやすいように授業の中で種々の工夫がなされているのがわかる。

3. 創造力や実践力を育む特色ある教育が、全ての学科で実施されている。

4. 最近の就職率・就職先及び進学率から判断して、学習・教育の成果が十分に認められる。

[努力課題]

就職や進学といった卒業後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育の成果が十分に認められるものの、卒業時の学生・卒業生・就職先からのアンケート結果などの資料が不足していると思われる。アンケート結果などの収集・評価が求められる。

[改善勧告]

教育課程表からでは、教育目標と授業科目の対応は確認できるが、カリキュラムポリシーで定められた内容と各授業科目が対応付けられていることを確認できないので、資料を基に補足説明が必要であると思われる。

該当する観点	5-1-①

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

観点5-2-② 準学士課程では学修単位科目を開講していないのか？

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

観点 4: 入学者受入れの方針に基づく活動について(準学士課程)

[機関別認証評価基準 6] 準学士課程の学生の受入れ

<p>6-1 入学者の選抜が、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な方法で実施され、機能していること。また、実入学者数が、入学定員と比較して適正な数となっていること。</p>

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観点评価	
<p>6-1-① 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p>
<p>6-1-② 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を実際に受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： 上項目と同様、満たしていると推察できる。 AP に沿った学生の受入れが行われていることが検証され、検証結果に基づき改善されていることが評価できる。 改善に繋げていることを示す会議の議事録などの資料を保存することが望まれる。</p>
<p>6-1-③ 実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p>

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

<p>入学者の選抜がアドミッション・ポリシーに沿って適切な方法で実施され、機能していることが確認できる。</p>

[長所として特記すべき事項]

--

[努力課題]

--

[改善勧告]

--

該当する観点

--

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

観点 3+4: 教育課程編成・実施の方針に基づく活動について(専攻科課程)

入学者受入れの方針に基づく活動について(専攻科課程)

[機関別認証評価基準 8] 専攻科課程の教育活動の状況

<p>8-1 専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成され、専攻科課程としてふさわしい授業形態、学習指導法等が採用され、適切な研究指導等が行われていること。また、専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）並びに修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、成績評価・単位認定及び修了認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。</p>
<p>8-2 専攻科課程としての入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切に運用されており、適正な数の入学状況であること。</p>
<p>8-3 修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育・研究の成果が認められること。</p>

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
8-1-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
8-1-② 準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
8-1-③ 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
8-1-④ 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教養教育や研究指導が適切に行われているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
	<input type="checkbox"/> 満たしていない	
8-1-⑤ 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
8-1-⑥ 修了認定基準が、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、修了認定が適切に実施されているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
8-2-① 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。	観点を <input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： アドミッションポリシーのうち、入学者選抜の基本方針に沿った適切な入学者選抜方法を定めているが、具体的な合否判定資料（判定会議議事録など）が確認できない。
8-2-② 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 専攻科会議，成績操行会議において，AP に沿った学生を受入れていることを検証するための取組や改善が行われている。
8-2-③ 実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
8-3-① 成績評価・修了認定の結果から判断して、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 学習・教育・研究の成果を把握・評価するための体制を規程に基づき整備している。 ただし、機関別認証評価では、CP と DP の整合性が明確ではないために、CP に基づいて定めた課程の単位を修得しただけでは DP に沿った学習・教育が行われているとは判断できないと指摘される可能性がある。
8-3-② 達成状況に関する学生・修了生・進路先関	観点を <input type="checkbox"/> 満たしている	コメント： 修了時の学生・修了生あるいは就職

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
係者等からの意見の聴取の結果から判断して、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。	<input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	先からのアンケート結果などの資料が充分ではなく、確認が難しい。定期的に意見聴取を行い、データとして収集・保存することが望まれる。
8-3-③ 就職や進学といった修了後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 当校における最近の就職率は100%と極めて高くなっている。
8-3-④ 修了生の学位取得状況から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 最近の修了生の学位取得率は100%となっており、学習・教育・研究の成果が認められる。

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

当校の専攻科は、JABEE 認定プログラムの認定を受けていること、また大学改革支援・学位授与機構から特例適用専攻科として認定されており教育・研究がCPに基づき適切に行われていることが確認されている。ただし、修了時の学生・修了生・就職先からのアンケート結果などの資料が充分ではなく、確認が難しい項目があるように思われる。

また、最近の修了生の就職率および学位取得率は100%となっており、学習・教育・研究の成果が認められる。

[長所として特記すべき事項]

[努力課題]

修了時の学生・修了生・就職先からのアンケート結果などの資料が充分ではなく、データの収集・保存が望まれる。

[改善勧告]

該当する観点	

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

観点 5: 研究活動支援の方針に基づく活動について

[機関別認証評価選択的評価事項 A] 研究活動の状況

A-1 高等専門学校の研究活動の目的等に照らして、必要な研究体制及び支援体制が整備され、機能しており、研究活動の目的に沿った成果が得られていること。

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
A-1-① 研究活動に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 「委員会規程」や「研究費規程」が資料として提示されているが、研究活動の目的や方針が別途定められていることが望ましい。
A-1-② 研究活動の目的等に照らして、研究体制及び支援体制が適切に整備され、機能しているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 研究活動の実施体制・支援体制として「研究委員会」が、設備を含む研究体制として「情報館」や各種設備が整備され、機能している。
A-1-③ 研究活動の目的等に沿った成果が得られているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
A-1-④ 研究活動等の実施状況や問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 教育研究の推進，教員の研究力の向上などを目的に「課題研究費」を設けるなどの工夫がなされている。 また，研究活動等の実施状況や問題点を把握し改善を図る規程「委員会規程」や「研究費規程」，組織「研究委員会」が作られ，改善に繋がっている。

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

<p>学校が設定した研究活動等の目的に照らして、必要な研究体制・支援体制が整備され機能していると思われる（研究活動の実施体制・支援体制として「研究委員会」が、設備を含む研究体制として「情報館」や各種設備）。</p> <p>研究活動の目的や方針が別途定められていることが望ましい。</p>

[長所として特記すべき事項]

--

[努力課題]

<p>研究活動の成果として、受託研究、共同研究、外部資金獲得実績などがまとめられた資料があるなら提示して欲しい。(当職が見逃しているかもしれません)</p>

[改善勧告]

<p>該当する観点</p>

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

観点 2: 学生支援の方針に基づく活動

[機関別認証評価基準 3] 学習環境及び学生支援等

<p>3-1 学校において編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されていること。また、ICT環境が適切に整備されるとともに、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されていること。</p>
<p>3-2 教育を実施する上での履修指導、学生の自主的学習の相談・助言等の学習支援体制や学生の生活や経済面並びに就職等に関する指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能していること。また、学生の課外活動に対する支援体制等が整備され、機能していること。</p>

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
<p>3-1-① 学校において編成された教育研究組織の運営及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されているか。</p>	<p>観點を</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしている</p> <p><input type="checkbox"/> どちらともいえない</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント:</p>
<p>3-1-② 教育内容、方法や学生のニーズに対応したICT環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。</p>	<p>観點を</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしている</p> <p><input type="checkbox"/> どちらともいえない</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント:</p>
<p>3-1-③ 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。</p>	<p>観點を</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしている</p> <p><input type="checkbox"/> どちらともいえない</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント:</p>
<p>3-2-① 履修等に関するガイダンスを実施しているか。</p>	<p>観點を</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 満たしている</p> <p><input type="checkbox"/> どちらともいえない</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント:</p>
<p>3-2-② 学習支援に関する学生のニーズが適切に把握され、学生の自主的学習を進める上での相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。</p>	<p>観點を</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしている</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント:</p>
<p>3-2-③ 特別な支援が必要と考えられる学生への学</p>	<p>観點を</p> <p><input type="checkbox"/> 満たしている</p>	<p>コメント:</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
習支援及び生活支援等を適切に行うことができる体制が整備されており、必要に応じて支援が行われているか。	<input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	
3-2-④ 学生の生活や経済面に係わる指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
3-2-⑤ 就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制が整備され、機能しているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
3-2-⑥ 学生の部活動、サークル活動、自治会活動等の課外活動に対する支援体制が整備され、適切な責任体制の下に機能しているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
3-2-⑦ 学生寮が整備されている場合には、学生の生活及び勉学の場として有効に機能しているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

概ね基準に足して観点を満たしていると感じました。
 評価基準にある教育課程に対応して施設・設備の整備は充実していると思います。

[長所として特記すべき事項]

[努力課題]

学生支援という点では不足なく行われていると感じていました。
 しかしながら観点到学生のニーズが適切に把握とありますが、
 学生の視点としてはニーズを伝える場面があまりないように感じました。

安全衛生管理等（3-1-①（8）（9））に関しては、第一回第一回外部評価委員会で回答があった通り今後の危機管理システムの運用の見直し、リスクマネジメントの徹底されることを期待します。

[改善勧告]

該当する観点	3-1

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項]（[基準に対する観点]番号を記載してください。）

-

[要求する追加資料]（[基準に対する観点]番号を記載してください。）

--

観点 3: 教育課程編成・実施の方針に基づく活動について(準学士課程)

[機関別認証評価基準 5] 準学士課程の教育課程・教育方法

[機関別認証評価基準 7] 準学士課程の学習・教育の成果

5-1 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成されており、その内容、水準等が適切であること。
5-2 準学士課程の教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。
5-3 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）並びに卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、成績評価・単位認定及び卒業認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。
7-1 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育の成果が認められること。

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
5-1-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が学年ごとに適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。	観點を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント：
5-1-② 教育課程の編成及び授業科目の内容について、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等が配慮されているか。	観點を □満たしている ■どちらともいえない □満たしていない	コメント：
5-1-③ 創造力・実践力を育む教育方法の工夫が図られているか。	観點を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント：
5-2-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適	観點を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント：

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
切な学習指導上の工夫がなされているか。		
5-2-② 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）の趣旨に沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。	観点を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント：
5-3-① 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。 また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。	観点を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント：
5-3-② 卒業認定基準が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、卒業認定が適切に実施されているか。	観点を □満たしている ■どちらともいえない □満たしていない	コメント：
7-1-① 成績評価・卒業認定の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。	観点を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント：
7-1-② 達成状況に関する学生・卒業生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。	観点を □満たしている ■どちらともいえない □満たしていない	コメント：
7-1-③ 就職や進学といった卒業後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	観点を □満たしている ■どちらともいえない □満たしていない	コメント：

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

方針等はシラバスなどを通じて学生のへの周知はきちんと行っていたと感じています。
が全体的に学生の認知状況などを学校側が把握しようとしている感覚もなかったため観点としてあるならば対策が必要なのではないでしょうか。

[長所として特記すべき事項]

授業編成や工夫（少人数編成）などに授業を受けた身として効果はあったと思います。
 また学生が気になる評価部分はシラバスにて自己採点などで学生側からも
 確認ができるような体制であったのがよいと思います。

[努力課題]

--

[改善勧告]

--

該当する観点

--

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項]（[基準に対する観点]番号を記載してください。）

--

[要求する追加資料]（[基準に対する観点]番号を記載してください。）

--

観点4：入学者受入れの方針に基づく活動について(準学士課程)

[機関別認証評価基準6] 準学士課程の学生の受入れ

6-1 入学者の選抜が、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な方法で実施され、機能していること。また、実入学者数が、入学定員と比較して適正な数となっていること。

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
6-1-① 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
6-1-② 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を実際に受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
6-1-③ 実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

とくに問題もなく観點を満たしていると思います。

[長所として特記すべき事項]

--

[努力課題]

--

[改善勧告]

該当する観点

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

観点 2: 学生支援の方針に基づく活動

[機関別認証評価基準 3] 学習環境及び学生支援等

<p>3-1 学校において編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されていること。また、ICT環境が適切に整備されるとともに、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されていること。</p>
<p>3-2 教育を実施する上での履修指導、学生の自主的学習の相談・助言等の学習支援体制や学生の生活や経済面並びに就職等に関する指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能していること。また、学生の課外活動に対する支援体制等が整備され、機能していること。</p>

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
<p>3-1-① 学校において編成された教育研究組織の運営及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント： 安全衛生管理体制が機能していないと記載があるが、具体的に何がどの程度機能していないのか。 <u>努力課題はあるものの、概ね満たしていると判断する。</u></p>
<p>3-1-② 教育内容、方法や学生のニーズに対応したICT環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p>
<p>3-1-③ 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p>
<p>3-2-① 履修等に関するガイダンスを実施しているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p>
<p>3-2-② 学習支援に関する学生のニーズが適切に把握され、学生の自主的学習を進める上での相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。</p>	<p>観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない</p>	<p>コメント：</p>
<p>3-2-③</p>	<p>観点を</p>	<p>コメント：</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
<p>特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等を適切に行うことができる体制が整備されており、必要に応じて支援が行われているか。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	<p>留学生、編入学生への支援体制が整備されていないとあるが、留学生編入学生はいない(受け入れていない)とい認識で良いか。 <u>留学生や編入学生への支援があることを確認できたので、満たしていると判断する。規定の整備は必要であると考える。</u></p>
<p>3-2-④ 学生の生活や経済面に係わる指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。</p>	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
<p>3-2-⑤ 就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制が整備され、機能しているか。</p>	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
<p>3-2-⑥ 学生の部活動、サークル活動、自治会活動等の課外活動に対する支援体制が整備され、適切な責任体制の下に機能しているか。</p>	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
<p>3-2-⑦ 学生寮が整備されている場合には、学生の生活及び勉学の場として有効に機能しているか。</p>	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

設備や体制は整備されており概ね満たしていると考えるが、利用状況や満足度の把握、改善を行う体制を整備するなど改善の余地がある。

[長所として特記すべき事項]

[努力課題]

利用状況や満足度を把握し、改善等を実施する体制の整備

留学生等への支援体制の規定整備

[改善勧告]

該当する観点

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
⊖	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

~~●3-1-①~~

~~安全衛生管理体制が機能していないと記載あるが、具体的に何がどの程度機能していないのか。~~

~~●3-2-③~~

~~留学生、編入学生への支援体制が整備されていないとあるが、留学生編入学生はいないのか。~~

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

観点3：教育課程編成・実施の方針に基づく活動について(準学士課程)

[機関別認証評価基準5] 準学士課程の教育課程・教育方法

[機関別認証評価基準7] 準学士課程の学習・教育の成果

5-1 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成されており、その内容、水準等が適切であること。
5-2 準学士課程の教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。
5-3 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）並びに卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、成績評価・単位認定及び卒業認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。
7-1 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育の成果が認められること。

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
5-1-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が学年ごとに適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
5-1-② 教育課程の編成及び授業科目の内容について、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等が配慮されているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
5-1-③ 創造力・実践力を育む教育方法の工夫が図られているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
5-2-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
切な学習指導上の工夫がなされているか。		
5-2-② 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）の趣旨に沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。	観点を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント：
5-3-① 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。 また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。	観点を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント：
5-3-② 卒業認定基準が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、卒業認定が適切に実施されているか。	観点を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント：
7-1-① 成績評価・卒業認定の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。	観点を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント：
7-1-② 達成状況に関する学生・卒業生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。	観点を □満たしている □どちらともいえない ■満たしていない	コメント：
7-1-③ 就職や進学といった卒業後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	観点を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント：

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

授業科目や授業形態、指導方法は整備・工夫されており、成績評価・単位/卒業認定も適切に行われていることから各観点概ね満たしていると考えますが、卒業生・進路先の意見聴取からの成果といった一部不十分な観点がある。

卒業生等への意見聴取について、改善の取り組みが確認できることから、ほぼ達成していると判断する。今後も継続していくための体制整備・改善は必要と考える。

[長所として特記すべき事項]

--

[努力課題]

<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスの活用状況の把握、改善の体制整備

[改善勧告]

<p>学生・卒業生・進路先からの意見聴取による教育成果の把握・評価体制の整備</p>

該当する観点	7-1-②
--------	-------

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
⊖	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

観点 4: 入学者受入れの方針に基づく活動について(準学士課程)

[機関別認証評価基準 6] 準学士課程の学生の受入れ

6-1 入学者の選抜が、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な方法で実施され、機能していること。また、実入学者数が、入学定員と比較して適正な数となっていること。

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
6-1-① 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
6-1-② 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を実際に受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
6-1-③ 実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

基準に対し各観點の内容を満たしていると判断する。

[長所として特記すべき事項]

[努力課題]

--

[改善勧告]

--

該当する観点

--

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

観点 3+4: 教育課程編成・実施の方針に基づく活動について(専攻科課程)

入学者受入れの方針に基づく活動について(専攻科課程)

[機関別認証評価基準 8] 専攻科課程の教育活動の状況

<p>8-1 専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成され、専攻科課程としてふさわしい授業形態、学習指導法等が採用され、適切な研究指導等が行われていること。また、専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）並びに修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、成績評価・単位認定及び修了認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。</p>
<p>8-2 専攻科課程としての入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切に運用されており、適正な数の入学状況であること。</p>
<p>8-3 修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育・研究の成果が認められること。</p>

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
8-1-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
8-1-② 準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
8-1-③ 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
8-1-④ 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教養教育や研究指導が適切に行われているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
	<input type="checkbox"/> 満たしていない	
8-1-⑤ 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
8-1-⑥ 修了認定基準が、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、修了認定が適切に実施されているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
8-2-① 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
8-2-② 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
8-2-③ 実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
8-3-① 成績評価・修了認定の結果から判断して、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
8-3-② 達成状況に関する学生・修了生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
8-3-③ 就職や進学といった修了後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
	<input type="checkbox"/> 満たしていない	
8-3-④ 修了生の学位取得状況から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

各基準に対し、すべての観点を概ね満たしていると判断するが、修了生や進路先からの意見聴取による成果の把握・評価など一部観点到改善の余地がある。

[長所として特記すべき事項]

達成度チェックシートによる学生の自己評価と、それを用いた指導教員との面談を実施している点。

[努力課題]

修了生・進路先からの意見聴取による教育成果の把握・評価体制の整備

[改善勧告]

該当する観点

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項]（[基準に対する観点]番号を記載してください。）

--

[要求する追加資料]（[基準に対する観点]番号を記載してください。）

--

観点 2: 学生支援の方針に基づく活動

[機関別認証評価基準 3] 学習環境及び学生支援等

<p>3-1 学校において編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されていること。また、ICT環境が適切に整備されるとともに、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されていること。</p>
<p>3-2 教育を実施する上での履修指導、学生の自主的学習の相談・助言等の学習支援体制や学生の生活や経済面並びに就職等に関する指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能していること。また、学生の課外活動に対する支援体制等が整備され、機能していること。</p>

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
<p>3-1-① 学校において編成された教育研究組織の運営及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されているか。</p>	<p>観點を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない</p>	<p>コメント：</p>
<p>3-1-② 教育内容、方法や学生のニーズに対応したICT環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。</p>	<p>観點を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない</p>	<p>コメント： ICT環境の利用状況や満足度は利用者のフィードバックを把握する制度があったほうがよりよいのではないか</p>
<p>3-1-③ 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。</p>	<p>観點を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない</p>	<p>コメント：</p>
<p>3-2-① 履修等に関するガイダンスを実施しているか。</p>	<p>観點を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない</p>	<p>コメント：</p>
<p>3-2-② 学習支援に関する学生のニーズが適切に把握され、学生の自主的学習を進める上での相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。</p>	<p>観點を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない</p>	<p>コメント：</p>
<p>3-2-③ 特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等を適切に行うことがで</p>	<p>観點を ■満たしている □どちらともいえない</p>	<p>コメント：</p>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
きる体制が整備されており、必要に応じて支援が行われているか。	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 満たしていない	
3-2-㉔ 学生の生活や経済面に係わる指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
3-2-㉕ 就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制が整備され、機能しているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
3-2-㉖ 学生の部活動、サークル活動、自治会活動等の課外活動に対する支援体制が整備され、適切な責任体制の下に機能しているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
3-2-㉗ 学生寮が整備されている場合には、学生の生活及び勉学の場として有効に機能しているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： マニュアルが随時改善されているかわからない。 資料からわからないが在学中は利用している学生からのフィードバックを採用する制度がなかった。

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

後述する項目以外は資料を見る限り、基本的な基準を満たしていると判断しました。

[長所として特記すべき事項]

特になし。

[努力課題]

・ 3-2-㉔
 ICT 環境のニーズは速いスピードで変わっていくので、広くフィードバックを取り入れる制度を設けて、改善・導入の検討、学校として費用の負担などをすべきではないか

・ 3-2-①

規模が小さいコミュニティなので、随時規則・マニュアルの改善を取り入れる制度があったほうがよいと思いました。(在学中は利用している学生からのフィードバックを採用する制度・機会がなかった。)

[改善勧告]

特になし。

該当する観点

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

< 質問及び追加資料の要求 >

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

観点 3: 教育課程編成・実施の方針に基づく活動について(準学士課程)

[機関別認証評価基準 5] 準学士課程の教育課程・教育方法

[機関別認証評価基準 7] 準学士課程の学習・教育の成果

5-1	準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成されており、その内容、水準等が適切であること。
5-2	準学士課程の教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。
5-3	準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）並びに卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、成績評価・単位認定及び卒業認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。
7-1	卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育の成果が認められること。

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
5-1-1-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が学年ごとに適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。	観点を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント：
5-1-1-② 教育課程の編成及び授業科目の内容について、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等が配慮されているか。	観点を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント：
5-1-1-③ 創造力・実践力を育む教育方法の工夫が図られているか。	観点を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント：
5-2-1-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。	観点を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント：

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
5-2-② 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）の趣旨に沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
5-3-① 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。 また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
5-3-② 卒業認定基準が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、卒業認定が適切に実施されているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
7-1-① 成績評価・卒業認定の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
7-1-② 達成状況に関する学生・卒業生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。	観点を <input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input checked="" type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
7-1-③ 就職や進学といった卒業後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

資料を見る限り、基本的な基準を満たしていると判断しました。

[長所として特記すべき事項]

・ 5-1-②

インターンシップの単位認定とサポート体制を設ける制度はよいと思います。

[努力課題]

特になし。

[改善勧告]

特になし。

該当する観点

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

■質問

・ 5-2-①

元々どのような課題意識から工夫を行ったのかが不明で、その結果改善されたのかわからないので知りたい。

→追加の資料とご説明があったので、理解できました。

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

観点 4: 入学者受入れの方針に基づく活動について(準学士課程)

[機関別認証評価基準 6] 準学士課程の学生の受入れ

6-1 入学者の選抜が、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な方法で実施され、機能していること。また、実入学者数が、入学定員と比較して適正な数となっていること。

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
6-1-① 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。	観點を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント：
6-1-② 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を実際に受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。	観點を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント：
6-1-③ 実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。	観點を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント：

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

資料を見る限り、基本的な基準を満たしていると判断しました。

[長所として特記すべき事項]

特になし。

[努力課題]

特になし。

[改善勧告]

特になし。

該当する観点

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

観点 5: 研究活動支援の方針に基づく活動について

[機関別認証評価選択的評価事項 A] 研究活動の状況

A-1 高等専門学校の研究活動の目的等に照らして、必要な研究体制及び支援体制が整備され、機能しており、研究活動の目的に沿った成果が得られていること。

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
A-1-① 研究活動に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。	観点を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント:
A-1-② 研究活動の目的等に照らして、研究体制及び支援体制が適切に整備され、機能しているか。	観点を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント:
A-1-③ 研究活動の目的等に沿った成果が得られているか。	観点を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント:
A-1-④ 研究活動等の実施状況や問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。	観点を □満たしている ■どちらともいえない □満たしていない	コメント:

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

資料を見る限り、基本的な基準を満たしていると判断しました。

[長所として特記すべき事項]

特になし。

--

[努力課題]

特になし。

[改善勧告]

特になし。

該当する観点	
--------	--

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

観点0：基本方針(ディプロマ・ポリシー)に基づく活動

[機関別認証評価基準1] 教育の内部質保証システム

<p>1-1 教育活動を中心とした学校の総合的な状況について、学校として定期的に学校教育法第109条第1項に規定される自己点検・評価を行い、その結果に基づいて教育の質の改善・向上を図るための教育研究活動の改善を継続的に行う仕組み（以下「内部質保証システム」という。）が整備され、機能していること。</p>
<p>1-2 準学士課程、専攻科課程それぞれについて、卒業（修了）の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）（以下「三つの方針」という。）が学校の目的を踏まえて定められていること。</p>
<p>1-3 学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されていること。</p>

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
1-1-① 教育活動を中心とした学校の活動の総合的な状況について、学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針、体制等が整備され、点検・評価の基準・項目等が設定されているか。	観點を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
1-1-② 内部質保証システムに基づき、根拠となるデータや資料に基づいて自己点検・評価が定期的に行われ、その結果が公表されているか。	観點を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
1-1-③ 学校の構成員及び学外関係者の意見の聴取が行われており、それらの結果が自己点検・評価に反映されているか。	観點を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
1-1-④ 自己点検・評価や第三者評価等の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるような組織としての体制が整備され、機能しているか。	観點を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
1-2-① 準学士課程の卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）が学校の目的を踏まえ	観點を ■満たしている □どちらともいえない	コメント： 規程・資料などで確認。

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
て明確に定められているか。	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 満たしていない	
1-2-② 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性を持ち、学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
1-2-③ 準学士課程の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
1-2-④ 専攻科課程の修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
1-2-⑤ 専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）が、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性を持ち、学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
1-2-⑥ 専攻科課程の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
1-3-① 学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

前回の機関別認証評価における改善事項を受けて、2016年度からディプロマ・ポリシーの見直しに着手を開始し、2020年には「教学の内部質保証について」として取りまとめられた内容に基づいて運用が始まっている。

[長所として特記すべき事項]

--

[努力課題]

<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、内部質保証システムの開始が一年遅れて2021年度開始となったことから、今後の継続的な活動が期待される。</p>

[改善勧告]

特になし	
該当する観点	

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

<p>観点 1-1-3-(2)-01「自己評価書抜粋」の中で、平成 21 年度に聞き取り調査をしているとのこと、この報告内容について確認したい。 →2/20 の第一回委員会で確認できていなかったようです。改めて確認したいと思います。</p>

観点1：FDの方針に基づく活動

[機関別認証評価基準2] 教育組織及び教員・教育支援者等

2-1	学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なものであること。 また、教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能していること。
2-2	教育活動を展開するために必要な教員が適切に配置されていること。
2-3	全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われていること。また、教員の採用及び昇格等に当たって、明確な基準や規定が定められ、それに従い適切な運用がなされていること。
2-4	教員の教育能力の向上を図る取組が適切に行われていること。また、教育活動を展開するために必要な教育支援者等が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
2-1-① 学科の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。	観點を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
2-1-② 専攻の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。	観點を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
2-1-③ 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制が整備され、教育活動等に係る重要事項を審議するなどの必要な活動が行われているか。	観點を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
2-2-① 学校の目的を達成するために、準学士課程に必要な一般科目担当教員及び各学科の専門科目担当教員が適切に配置されているか。	観點を ■満たしている □どちらともいえない □満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
2-2-② 学校の目的を達成するために、専攻科課程に必要な各分野の教育研究能力を有する専攻	観點を ■満たしている □どちらともいえない	コメント： 規程・資料などで確認。

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
科担当教員が適切に配置されているか。	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 満たしていない	
2-2-③ 学校の目的に応じた教育研究活動の活性化を図るため、教員の年齢構成等への配慮等適切な措置が講じられているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
2-3-① 全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われており、その結果が活用されているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
2-3-② 教員の採用や昇格等に関する基準や規定が明確に定められ、適切に運用されているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
2-4-① 授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究（ファカルティ・ディベロップメント）が、適切な方法で実施され、組織として教育の質の向上や授業の改善が図られているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
2-4-② 学校における教育活動を展開するために必要な事務職員、技術職員等の教育支援者等が適切に配置されているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
2-4-③ 教育支援者等に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組が適切に行われているか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

[長所として特記すべき事項]

前回(平成 25 年 3 月 23 日)の評価結果報告書では、専門科目の教員欠員について指摘があったが、令和 2 年 5 月 1 日現在は、設置基準を満たし、教育活動を展開するために必要な体制となっている。

[努力課題]

前回の報告で、各種会議における議事録フォーマットがバラバラであり、議事内容の正確性・完全性の保証のため、当該議事録責任者の承認は必要であるとの指摘があった。引き続き対応する必要がある。

[改善勧告]

該当する観点	

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

観点 2-1-③-(1)-10 学生部会議議事録では、学友会がなくなり、代議委員は選出しているとのこと。それらの経過・現状・理由・今後の対応などについて確認したい。

→2/20 の第一回委員会で回答あり。

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

学友会の会則を確認したい。

→2/20 の第一回委員会で内容の更新の必要性について説明があったが、学生要覧 2020 を確認したところ一部の抜粋であることから、全文を確認したい。

観点3：教育課程編成・実施の方針に基づく活動について(準学士課程)

[機関別認証評価基準5] 準学士課程の教育課程・教育方法

[機関別認証評価基準7] 準学士課程の学習・教育の成果

5-1 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成されており、その内容、水準等が適切であること。
5-2 準学士課程の教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。
5-3 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）並びに卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、成績評価・単位認定及び卒業認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。
7-1 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育の成果が認められること。

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
5-1-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が学年ごとに適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。	観點を <input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
5-1-② 教育課程の編成及び授業科目の内容について、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等が配慮されているか。	観點を <input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
5-1-③ 創造力・実践力を育む教育方法の工夫が図られているか。	観點を <input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
5-2-① 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適	観點を <input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：

基準に対する観点	基準に対する観点評価	
切な学習指導上の工夫がなされているか。		
5-2-② 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）の趣旨に沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。	観点を <input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
5-3-① 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。 また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。	観点を <input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
5-3-② 卒業認定基準が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、卒業認定が適切に実施されているか。	観点を <input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント：
7-1-① 成績評価・卒業認定の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
7-1-② 達成状況に関する学生・卒業生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 規程・資料などでは確認できず。 →報告書一次案に対して、追加の回答資料が出され、企業と卒業生・修了生アンケートの実施・検証を確認。
7-1-③ 就職や進学といった卒業後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	観点を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

--

[長所として特記すべき事項]

--

[努力課題]

<p>前回(平成 25 年 3 月 23 日)の評価結果報告書にもあるように、学生への学習達成度アンケートや就職・進学先への満足度アンケートなど、定性的な測定を継続的に実施する必要があるのではないか。</p>

[改善勧告]

該当する観点

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
⊖	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

<p>7-1-①と7-1-②に関しては根拠資料や説明がありながら、7-1-②に関する資料がない理由を確認した。</p> <p>→報告書一次案に対して、追加の回答資料が出され、企業と卒業生・修了生アンケートを実施・検証が確認できたので、取り下げとします。</p>

[要求する追加資料] ([基準に対する観点]番号を記載してください。)

--

観点 4: 入学者受入れの方針に基づく活動について(準学士課程)

[機関別認証評価基準 6] 準学士課程の学生の受入れ

6-1 入学者の選抜が、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な方法で実施され、機能していること。また、実入学者数が、入学定員と比較して適正な数となっていること。

<機関別認証評価基準に対する観点ごとの評価>

基準に対する観点	基準に対する観點評価	
6-1-① 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
6-1-② 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を実際に受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。
6-1-③ 実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。	観點を <input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 満たしていない	コメント： 規程・資料などで確認。

<機関別認証評価基準の評価>

[概評]

2020年度において、50名超クラスが3クラスであることから、関連する教室の改修工事の実施について、組織的に対応している。

[長所として特記すべき事項]

--

[努力課題]

--

[改善勧告]

--

該当する観点	
--------	--

[機関別認証評価基準評定]

	基準評定
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成度が極めて高い。
○	目的を踏まえて期待される成果に対して、ほぼ達成されている。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成がやや不十分である。
	目的を踏まえて期待される成果に対して、達成が不十分であり、改善が望まれる。
	判断保留

<質問及び追加資料の要求>

[質問事項]（[基準に対する観点]番号を記載してください。）

コロナ禍で2年続いて様々な新入生獲得に向けての取り組みが中止になったのではないかと推察されますが、例年はどのような取り組みが行われているのか、全体像をつかみたい。 →第一回委員会において説明あり

[要求する追加資料]（[基準に対する観点]番号を記載してください。）

--

サレジオ工業高等専門学校
外部評価委員会
評価結果（答申）報告書
（2021年度実施）

編集・発行
サレジオ工業高等専門学校

〒194-0215
東京都町田市小山ヶ丘 4-6-8
TEL 042-775-3020（代表）
<http://www.salesio-sp.ac.jp/>